

平戸市総合戦略 個別施策の 進捗状況（令和 6 年度実施）

平戸市財務部企画課

～目次～

基本目標1 雇用の促進～しごとをふやすプロジェクト～

・数値目標・KPI・進捗状況の分析・今後の方針	1
・方策名 ア)就労機会の拡大 主な事業一覧	3
・総合戦略事業評価シート	4～6
・方策名 イ)就労環境の整備 主な事業一覧	7
・総合戦略事業評価シート	8～9
・方策名 ウ)新たなビジネスの創造 主な事業一覧	11
・総合戦略事業評価シート	12～13

基本目標2 産業の振興～しごとをのばすプロジェクト～

・数値目標・KPI・進捗状況の分析・今後の方針	15
・方策名 ア)農林業の振興 主な事業一覧	17
・総合戦略事業評価シート	18～24
・方策名 イ)水産業の振興 主な事業一覧	25
・総合戦略事業評価シート	26～28
・方策名 ウ)観光の振興 主な事業一覧	29
・総合戦略事業評価シート	30～35
・方策名 エ)地域ブランドの推進 主な事業一覧	37
・総合戦略事業評価シート	38～42
・方策名 オ)持続可能な地域経済の確立 主な事業一覧	43

基本目標3 子育て支援～ひとをそだてるプロジェクト～

・数値目標・KPI・進捗状況の分析・今後の方針	45
・方策名 ア)妊娠・出産・育児への切れ目ない支援 主な事業一覧	47
・総合戦略事業評価シート	48～52
・方策名 イ)教育環境の整備 主な事業一覧	53
・総合戦略事業評価シート	54～55

基本目標4 定住・移住の促進～まちをつくるプロジェクト～

・数値目標・KPI・進捗状況の分析・今後の方針	57
・方策名 ア)移住の受入推進 主な事業一覧	59
・総合戦略事業評価シート	60～61
・方策名 イ)魅力あるまちづくり 主な事業一覧	63
・総合戦略事業評価シート	64～67

※数値目標及びKPIにおける単位「〇/年」は、単年の値。その他は、積上げの値。

平戸市総合戦略 個別施策の進捗状況（令和6年度実施）

1. 基本的事項								
基本目標	2. 産業の振興～しごとをのぼすプロジェクト～							
目標を達成するための方策	ア) 農林業の振興	イ) 水産業の振興	ウ) 観光の振興					
	エ) 地域ブランドの推進	オ) 持続可能な地域経済の確立						
2. 数値目標								
数値目標	単位	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
主要農林畜産物販売額	億円/年	53.7	46.8	51.8	47.6	47.6	51.3	55.6
水産物販売事業総取扱高	億円/年	60.0	42.5	47.4	54.7	54.5	48.4	60.0
観光消費額	億円/年	104	67	74	94	93	99	122
3. KPI（重要業績評価指標）								
KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
新規就農者数	人/年	6	14	6	10	2	11	6
繁殖雌牛の平均飼養頭数	頭/戸	9.4	11.3	12.0	12.5	13.2	13.5	11.0
沿岸漁業における新規就業者数	人/年	3	6	8	1	9	3	4
地域計画にかかる事業申請件数	件/年	1	2	1	2	0	0	3
観光入込客数	千人/年	1,771	1,387	1,475	1,604	1,438	1,357	2,000
年間宿泊客数	千人/年	262	146	163	246	237	232	300
年間外国人宿泊客数	人/年	22,912	881	13	642	13,933	10,802	30,000
新商品開発数	品	38	66	69	76	80	103	88
平戸産品取扱店舗数	店舗	54	74	69	78	72	73	75
市内高校への進学率	%/年	54.7	56.6	64.5	54.6	56.3	58.3	60.0
4. 進捗状況の分析								
<p>農林業については、繁殖雌牛の平均飼養頭数は横ばいとなり、主要農林畜産物販売額は増となったものの目標を下回るとなっている。担い手不足や高齢化等に伴う廃業や規模縮小の影響が考えられ、引き続き担い手の確保や省力化の推進が急がれる。</p> <p>水産業について、就業希望者への実地研修等の実施や後継者支援による機器更新費用助成等により、沿岸漁業における新規就業者数は、ある程度の成果を得ている。令和6年度の水揚高については、漁獲量は前年度並みであったものの、主要魚種のうちマダイやイカ類の漁獲量が減少したことや、イワシ類、ブリ類の単価が下がったことにより、水産物販売事業総取扱高が減少した。</p> <p>観光業については、観光客数は約135万7千人で、前年比8万2千人、宿泊客数は約23万1千人で、前年から6千人（約2.6%）減少した。年間の外国人宿泊者数についても1万802人で、前年比22.5%（3,131人）の減少となった。これらのKPIが前年を下回った背景には、団体旅行客の減少や物価高騰による旅行需要の抑制などが要因と考えられる。</p> <p>地域ブランドの推進については、東京有楽町に開設している物販型アンテナショップ「有楽町ひらど商館」・飲食型アンテナショップ「平戸こんね」及び平戸市公式オンラインショップ等を有効に活用し、平戸フェア、物産展の開催等により全国に向けて本市特産品のPRを行うことができた。</p>								
5. 今後の方針								
<p>農林業については、後継者不足解消に向けた担い手の確保や育成に継続して取り組むとともに、新技術の導入による生産性の向上や効率化を積極的に支援し、もうかる農業の確立によるKPIの達成を目指していく。また、林業者の雇用安定、木質バイオマスエネルギーの供給体制構築、二酸化炭素排出量削減等のために、官民が一体となって取り組んでいく。</p> <p>水産業については、持続可能な漁業の推進と流通販売方法の改善に努めるとともに、担い手の確保や育成及び定着を図るため、支援を引き続き行っていく。</p> <p>観光業においては、本市の特色を生かした「アルベルゴ・ディフーズタウン」などのテーマ観光の推進や、西九州自動車道の延伸による広域観光の連携を推進し、観光客の誘致、さらには観光消費額の増加を図っていく。また、地域DMOによる国の各種補助制度の積極的な活用とともに、関係機関との連携を強化し、観光客数の回復をはじめとする各種数値目標の達成に向け、引き続き取組みを推進していく。</p> <p>地域ブランドの推進については、地域産品による物販型・飲食型アンテナショップの運営や、ECサイトを活用したPR及び平戸産品販路拡大など、民間が主体となって取り組める体制づくりを構築し支援する。</p> <p>市内各産業においては、今後も各分野の関係機関と連携した産業振興施策を継続して実施していく必要がある。</p>								

1. 各方策の実施状況（総合戦略から抜粋）	
基本目標	2. 産業の振興～しごとをのばすプロジェクト～
方策名	ア) 農林業の振興
方策の概要	担い手対策について、新規就農者の確保・育成のため、産地を核とした育成システムの実行や、その後の経営確立支援を実施するとともに、集落における多様な担い手を明確化する取組みを通じて、地域農業における担い手の確保・育成を推進します。
	園芸振興について、生産者の経営安定と所得向上を図るため、振興品目の生産力及び労働生産性の向上に向けた施設整備・機械導入等に対する支援に取り組みます。
	畜産振興について、肉用牛を中心とした生産者の経営安定を図るため、規模拡大に向けた飼養管理施設の整備及び家畜導入等への支援に取り組みます。
	農地の基盤整備による優良農地の確保及び生産性の向上とともに、農地が持つ多面的機能の保持に努めます。
	広葉樹や未利用間伐材等の豊富な森林資源の有効活用を図るため、木質バイオマスエネルギーの利用体系の構築を図ります。

2. 実施した主な事業一覧					
No.	事業名	所管課	事業開始年度	所管課評価	ページ
1	産地を支える人材確保推進事業	農業振興課	平成29年度	継続	18
2	農業次世代人材投資事業	農業振興課	平成24年度	継続	19
3	新規就農者育成総合対策事業	農業振興課	令和4年度	継続	20
4	園芸用リースハウス整備事業	農業振興課	令和4年度	事業完了	21
5	平戸式もうかる農業実現支援事業	農業振興課	平成27年度	改善・見直し	22
6	農業発展サポート事業	農業振興課	令和6年度	継続	23

事 業 評 価 シ ー ト

事業名	産地を支える人材確保推進事業						担当課	農業振興課		
予算科目	6 款	1 項	3 目	総合計画施策体系	1	1	1	1	実施年度	平成29年度 ~

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費	864	636	516	3,923	1,832	1,719
国県支出金						
地方債						
その他	864	636	516	3,888	1,822	1,707
一般財源				35	10	12

事業の目的及び内容（PLAN）

<p>【事業目的】 生産者の高齢化が進む地域振興品目について、就農希望者への情報発信や相談対応等を通じ、新たな担い手となる人材を確保することで、産地の活性化を図ることを目的とする。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就農希望者募集用ホームページ（平戸Nova）やSNS等による情報発信 ・ 就農相談支援員の設置 ・ 就農希望者の相談対応（オンライン相談会、オンラインセミナー・産地見学ツアー、電話、メール等）

事業の実施状況（DO）

<p>1 専用HP等による情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HPアクセス件数：3,746件 ・ SNS（Instagram）フォロワー数：318人（閲覧数：3,093回） <p>2 相談対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就農相談件数 15件 （来庁者：8件、TEL：4件、Web：2件、メール：1件） <p>3 その他の活動について</p> <p>北農生見学ツアー：6人、オンライン相談会参加者：3人、オンラインセミナー・産地見学ツアー参加者：10人</p>

事業実施による成果（CHECK）

<p>専用ホームページやSNSによる情報発信や、北農生を対象とした見学ツアー、県と連携したオンラインセミナー・産地見学ツアーなどを通じ、本市での就農に関心を持つ方へアプローチすることで、今後の就農相談につなげることができた。</p>

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 就農相談件数	件	529	40	47	35	15	年度
② ホームページアクセス件数	件	23,619	7,480	5,186	3,680	3,746	年度

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	<p>就農相談件数が減少していることから、より効果的な情報発信に努めるとともに、就農前後の相談においては、農業技術に係るもののほか、生活面におけるものなど多岐に及ぶことから、今後とも庁内関係部署や関係機関と連携しながら、相談機能を充実していく必要がある。</p>
今後の方針	<p>G A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続</p>

事業評価シート

事業名	農業次世代人材投資事業						担当課	農業振興課		
予算科目	6款	1項	3目	総合計画施策体系	1	1	1	1	実施年度	平成24年度～令和8年度

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費	6,750	10,125	10,500	9,750	6,825	2,400
国県支出金	6,750	10,125	10,500	9,750	6,825	2,400
地方債						
その他						
一般財源						

事業の目的及び内容（PLAN）
<p>【事業目的】 経営が不安定な就農直後の期間において、経営開始資金を交付することで、新規就農者の早期の経営確立を支援し、営農定着を図る（本事業は令和4年度採択者より新規就農者育成総合対策事業に移行）。</p> <p>【事業内容】 ・経営開始資金の交付（最長5年支援） 単身型：125千円／月（1,500千円／年）、夫婦型：187.5千円／月（2,250千円／年） ・交付対象者に対するフォローアップの実施</p>

事業の実施状況（DO）
<p>1 資金の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付人数：5人（アスパラガス4人、イチゴ1人） ・補助金：単身型：3,000千円（125千円×12月×2人） 2,700千円〔（125千円×6月+100千円×6月）×2人〕 夫婦型：1,125千円（187.5千円×6月×1人） <p>2 フォローアップの実施 交付対象者の就農状況を確認し、関係機関（市、県及び農協）で組織する指導チーム会による指導・助言を実施した。</p>

事業実施による成果（CHECK）
<p>経営開始した新規就農者は、技術等が不安定であり、安定的な農業所得の確保が難しい状況にあるが、資金の交付やフォローアップの実施により、就農後の経営安定を促し、担い手の定着につなげることができた。</p>

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	年度/積上
① 支援人数	人	5	8	7	6	6	年度

事業の改善（ACTION）	
事業実施に係る課題及び改善点	新規就農者の農業経営の早期確立に向けて、県や農協などの関係機関と連携し、経営状況に応じた定期的な営農指導・経営管理指導等を実施し、引き続き、生産技術や農業経営における課題解決に向けた支援を行う必要がある。
今後の方針	G A拡大 B縮小 C統合 D廃止・休止 E事業完了 F改善・見直し G継続

事業評価シート

事業名	新規就農者育成総合対策事業							担当課	農業振興課	
予算科目	6 款	1 項	3 目	総合計画施策体系	1	1	1	1	実施年度	令和4年度～

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費			14,469	11,892	22,491	25,528
国県支出金			14,469	11,892	22,491	25,528
地方債						
その他						
一般財源						

事業の目的及び内容（PLAN）

【事業目的】

経営が不安定な就農直後の期間において、経営開始資金の交付や、機械・施設等の整備費用に対し補助することで、新規就農者の早期の経営確立を支援し、営農定着を図る。

【事業内容】

- ・ 経営開始資金（最長3年支援）
 単身型：125千円／月（1,500千円／年）、夫婦型：187.5千円／月（2,250千円／年）
- ・ 経営発展支援事業
 機械・施設等整備費用の補助（補助率3／4以内）
- ・ 交付対象者に対するフォローアップの実施

事業の実施状況（DO）

- 1 経営開始資金
 - ・ 交付人数：10人（アスパラガス8、イチゴ2）
 - ・ 補助金：単身型：1,500千円（125千円×12月）×8人＝12,000千円
 750千円（125千円×6月）×1人＝750千円
 夫婦型：2,250千円（187.5千円×12月）×1人＝2,250千円
- 2 経営発展支援事業
 交付人数：2人（アスパラガス1、イチゴ1）、補助金：7,491千円（9,988千円×補助率3／4）
- 3 フォローアップの実施
 交付対象者の就農状況を確認し、関係機関（市、県及び農協）で組織する指導チーム会による指導・助言を実施した。

事業実施による成果（CHECK）

経営開始した新規就農者は、技術等が不安定であり、安定的な農業所得の確保が難しい状況にあるが、資金の交付や機械・施設等整備にかかる支援、フォローアップの実施により、就農後の経営安定を促し、担い手の定着につなげることができた。

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 支援人数	人			6	7	10	年度

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	新規就農者の農業経営の早期確立に向けて、県や農協などの関係機関と連携し、経営状況に応じた定期的な営農指導・経営管理指導等を実施し、引き続き、生産技術や農業経営における課題解決に向けた支援を行う必要がある。					
今後の方針	G	A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続				

事業評価シート

事業名	園芸用リースハウス整備事業						担当課	農業振興課			
予算科目	6款	1項	3目	総合計画施策体系	1	1	1	1	実施年度	令和4年度～令和6年度	

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費			53,922	39,990	57,228	
国県支出金			40,850	32,250	40,569	
地方債						
その他						
一般財源			13,072	7,740	16,659	

事業の目的及び内容（PLAN）
<p>【事業目的】 JAながさき西海がリース事業として実施する生産施設の整備に対し支援することで、新規就農者の育成と振興品目の産地拡大を図ることを目的とする。</p> <p>【事業内容】 園芸用リースハウスの整備に対する支援</p>

事業の実施状況（DO）																				
<p>1 アスパラガスハウスの整備</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">戸数</td> <td style="text-align: center;">面積</td> <td style="text-align: center;">事業費</td> <td style="text-align: center;">補助金</td> </tr> <tr> <td>現年 1戸</td> <td>A=20.7a</td> <td>17,850千円</td> <td>11,900千円</td> </tr> <tr> <td>繰越 1戸</td> <td>A=21.0a</td> <td>19,480千円</td> <td>12,856千円</td> </tr> </table> <p>2 イチゴハウスの整備</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">戸数</td> <td style="text-align: center;">面積</td> <td style="text-align: center;">事業費</td> <td style="text-align: center;">補助金</td> </tr> <tr> <td>繰越 1戸</td> <td>A=20.4a</td> <td>41,900千円</td> <td>32,472千円</td> </tr> </table>	戸数	面積	事業費	補助金	現年 1戸	A=20.7a	17,850千円	11,900千円	繰越 1戸	A=21.0a	19,480千円	12,856千円	戸数	面積	事業費	補助金	繰越 1戸	A=20.4a	41,900千円	32,472千円
戸数	面積	事業費	補助金																	
現年 1戸	A=20.7a	17,850千円	11,900千円																	
繰越 1戸	A=21.0a	19,480千円	12,856千円																	
戸数	面積	事業費	補助金																	
繰越 1戸	A=20.4a	41,900千円	32,472千円																	

事業実施による成果（CHECK）
<p>新規就農者の初期投資が低減され、営農定着が図られるとともに、市の振興品目であるアスパラガスとイチゴの産地の維持につながった。</p>

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 新規就農者数（リースハウス借受者）	戸			5	3	3	年度
② リースハウス整備面積	a			105.5	58.7	62.1	年度

事業の改善（ACTION）	
事業実施に係る課題及び改善点	園芸用リースハウスの整備に対する支援は、令和6年度までであるが、今後も、生産を安定させるため、新規就農者に対し、定期的な営農指導や経営管理指導を引き続き行っていく。
今後の方針	E A拡大 B縮小 C統合 D廃止・休止 E事業完了 F改善・見直し G継続

事業評価シート

事業名	平戸式もうかる農業実現支援事業						担当課	農業振興課		
予算科目	6 款	1 項	3,4 目	総合計画施策体系	1	1	1	1,2	実施年度	平成27年度 ~

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費	23,249	32,433	60,963	24,090	41,606	35,493
国県支出金						
地方債						
その他	23,429	32,433	60,963	24,090	41,606	35,493
一般財源						

事業の目的及び内容（PLAN）
<p>【事業目的】 担い手の確保・育成、園芸振興、畜産振興を3つの柱として、就農前の研修期間及び就農後の農業経営の安定、園芸用ハウスや牛舎等の施設整備、繁殖雌牛等の導入に対する支援を行い、他産業並みの農業所得が得られる「もうかる農業」の確立に向けた取組みを進めることを目的とする。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の研修期間中、経営開始後の生活費に対する支援 ・新規就農者の就農に必要な農業用施設等の整備に対する支援 ・認定農業者等が取り組む園芸用施設の補修・改修、堆肥保管庫整備に対する支援 ・直売所の供給力向上に資する園芸用ハウス等の整備に対する支援 ・畜産経営の規模拡大にかかる施設整備や家畜導入に対する支援 ・肥育牛経営の規模拡大にかかる肥育素牛導入に対する支援

事業の実施状況（DO）	
1 就農準備支援事業（就農前1年間）：研修生3人（アスパラガス1人、肉用牛2人）	1,650千円
2 経営開始支援事業（就農後2年間）：新規就農者12人（アスパラガス10人、イチゴ2人）	8,325千円
3 中核的経営開始型支援事業	
現年 アスパラガスハウス 1戸 A=20.7a	2,380千円
" イチゴ高設栽培システム 1戸 A=10.5a	5,217千円
線越 アスパラガスハウス 1戸 A=21.0a	2,728千円
" イチゴハウス 1戸 A=20.4a	1,048千円
4 平戸牛産地力強化緊急対策支援事業：牛舎等整備 3件 A=209.12m ²	2,139千円
繁殖雌牛導入 171頭	16,594千円
種豚導入 25頭	325千円
5 平戸牛供給力強化支援事業：肥育素牛導入 12頭	1,200千円

事業実施による成果（CHECK）
1 新規就農者の研修期間中や経営開始初期に給付金を交付することで、生活の安定が図られ技術習得に専念できる環境を確保するとともに、就農後の経営安定を促し、担い手の定着につなげることができた。
2 新規就農者の生産開始に必要な施設の整備に対する支援により、早期の経営安定につなげることができた。
3 牛舎等の整備や繁殖雌牛、種豚、肥育素牛の導入に対する支援により、経営規模の維持・拡大を図ることができた。

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 経営開始資金による支援人数	人	8	7	12	11	12	年度
② 園芸産地育成に向けた支援品目	件	3	3	3	1	2	年度
③ 繁殖雌牛導入数	頭	95	77	79	93	171	年度

事業の改善（ACTION）	
事業実施に係る課題及び改善点	畜産については、令和6年度から高齢母牛の更新を支援し、優良雌牛群の造成に取り組むこととしたが、より短期間で優良雌牛の選抜・増殖を行うことのできる受精卵移植技術の普及に向け、ゲノミック評価など新しい技術の導入が必要であるため、補助制度の見直しを検討する。
今後の方針	F A拡大 B縮小 C統合 D廃止・休止 E事業完了 F改善・見直し G継続

事業評価シート

事業名	農業発展サポート事業						担当課	農業振興課		
予算科目	6 款	1 項	3 目	総合計画施策体系	1	1	1	2	実施年度	令和6年度～

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費					3,838	5,000
国県支出金						
地方債						
その他					3,838	5,000
一般財源						

事業の目的及び内容（PLAN）
<p>【事業目的】 農畜産物を生産する農業者を対象として、異常気象による被害を軽減するために必要な機資材の導入や農業用機械の導入に対し支援することで、農畜産物の生産安定化と農作業の省力化を図ることを目的とする。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 異常気象により農畜産物への被害軽減に対する支援 ・ 農作業の省力化、労力負荷軽減に対する支援

事業の実施状況（DO）
<p>1 異常気象対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アスパラガスハウス寒冷紗 1 戸 A=549.0㎡ 88千円 ・ イチゴ雨よけ育苗施設 2 戸 A=594.9㎡ 750千円 <p>2 省力化・労力負荷軽減対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防除用ドローン 1 組合 1 機 1,000千円 ・ 馬鈴しょ収穫機 2 戸 2 台 2,000千円

事業実施による成果（CHECK）
<p>ハウス内の気温上昇を抑制するための寒冷紗や、いちごの育苗時の病害発生を抑制する雨よけ育苗施設を整備したことにより、猛暑による生育不良や強い降雨による病害発病のリスクが抑制され、生産性の向上を図ることができた。</p> <p>また、水稻等を対象とした防除用ドローンや馬鈴しょの収穫機の導入により、猛暑時の防除作業の省力化や労力を低減した収穫体制が構築され、産地の維持を図ることができた。</p>

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 異常気象対策の取組み支援件数	件					3	年度
② 省力化・労力負荷軽減の支援件数	件					3	年度

事業の改善（ACTION）	
事業実施に係る課題及び改善点	異常気象による農畜産物への影響、農業従事者の高齢化や就業人口の減少による労力不足が進んでいることから、引き続き、農畜産物の安定生産と地域農業の維持を図るため、生産部会や農業団体等に対し事業の活用を推進する必要がある。
今後の方針	G A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続

1. 各方策の実施状況（総合戦略から抜粋）	
基本目標	2. 産業の振興～しごとをのばすプロジェクト～
方策名	イ) 水産業の振興
方策の概要	漁業後継者（漁家子弟）及び意欲あるU I ターン者の漁業就業を円滑に推進するため、経営の安定に必要な機器類の導入や漁業技術の習得等の支援を行うことにより、漁業担い手の確保及び定着促進を図ります。
	沿岸漁業等の水産業関連事業者の所得向上のため、平戸産水産物の鮮度保持技術及び衛生管理体制の強化による高付加価値化、並びに流通・販売体制の改善強化を支援します。
	水産資源の適切な管理及び漁場環境の維持保全、並びに生産拠点漁港の機能充実により、安定した漁業生産活動に取り組める環境整備を行います。

2. 実施した主な事業一覧					
No.	事業名	所管課	事業開始年度	所管課評価	ページ
1	水産物流通販売体制強化支援事業	水産課	令和3年度	拡大	26
2	漁業と漁村を支える人づくり事業	水産課	平成23年度	継続	27
3	漁業後継者経営支援事業	水産課	令和元年度	拡大	28

事 業 評 価 シ ー ト

事業名	水産物流通販売体制強化支援事業						担当課	水産課		
予算科目	6 款	3 項	2 目	総合計画施策体系	1	1	2	2	実施年度	令和3年度～令和9年度

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費		2,632	9,733	10,242	9,101	17,000
国県支出金						
地方債						
その他		2,632	9,733	10,242	9,101	17,000
一般財源						

事業の目的及び内容（PLAN）	
【事業目的】	持続可能な水産業を確立するため、市内漁協が鮮度保持や衛生管理および産地加工や流通体制の維持・強化に取り組む施設整備等の導入を支援することにより、市内水産物の戦略的な流通・販売体制の構築を図る。
【事業内容】	①鮮度保持体制支援：鮮度保持施設（製氷・貯氷・冷凍・冷蔵施設）の代替フロン転換にかかる施設整備 ②流通販売体制支援：荷さばき施設、加工施設、販売施設、輸送施設の維持、機能強化又は衛生管理向上に資する施設整備 ③生産活動効率化支援：共同利用施設における生産活動の効率化（ICT・IoT機器またはAI機器等）に資する経費 ④流通改善対策支援：製氷施設等の大規模改修・整備計画の立案、水産分野における市内特産物の販路開拓、水産食品の衛生管理指導等に対するコンサル委託に対する助成 補助率：2/3（上限5,000千円①～③、上限2,000千円④）

事業の実施状況（DO）	
・平戸市漁協	冷蔵施設：プレハブ冷蔵冷凍機 事業費 2,250千円（補助金 1,500千円） 給油施設：自動給油機 事業費 1,337千円（補助金 891千円） 販売施設：業務用ディープフリーザー 事業費 523千円（補助金 348千円）
・生月漁協	販売施設：空調設備改修 事業費 2,047千円（補助金 1,364千円）
・館浦漁協	加工施設：練り製品生産機器一式 事業費 5,200千円（補助金 3,466千円） コンサル委託：加工施設整備計画コンサル 事業費 2,299千円（補助金 1,532千円）

事業実施による成果（CHECK）							
鮮度保持関連の冷蔵施設や流通販売関連の販売施設・加工施設、生産活動関連の給油施設について、衛生管理徹底及び作業効率化のために漁協が取り組む機器、設備導入及びコンサル委託等費用の一部を助成したことで、水産物流通販売体制の機能強化に寄与することができた。							
本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 鮮度保持体制支援箇所数	箇所		0	1	0	1	年度
② 流通販売体制支援箇所数	箇所		2	1	1	3	年度
③ 生産活動効率化支援箇所数	箇所		0	0	1	1	年度
④ 流通改善対策支援箇所数	箇所		0	0	2	1	年度

事業の改善（ACTION）	
事業実施に係る課題及び改善点	各漁協の実態に合った流通改善対策の強化を図るため、水産物の知名度向上及び販売促進に資するイベントや見本市の開催又は出展に対する支援内容を拡充する必要がある。
今後の方針	A A拡大 B縮小 C統合 D廃止・休止 E事業完了 F改善・見直し G継続

事業評価シート

事業名	漁業と漁村を支える人づくり事業						担当課	水産課		
予算科目	6款	3項	2目	総合計画施策体系	1	1	2	3	実施年度	平成23年度～

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費	624	4,152	2,854	4,208	5,063	3,405
国県支出金	312	2,075	1,426	2,083	2,523	1,627
地方債						
その他		2,077	1,428	2,125	2,540	1,778
一般財源	312					

事業の目的及び内容（PLAN）

【事業目的】

新規就業者の確保・定着を促進するため、新たに漁業を営む者（研修者）および漁業の技術習得を目的とした研修を受け入れた指導者（漁業者）を支援することにより、本市の基幹産業である漁業の持続的な生産と漁村地域の活力維持を図る。

【事業内容】

- ・ 漁業就業実践研修事業
 スマート人材育成コースの実践研修における研修費および指導謝金
 地域漁業習得コースの実践研修における研修費
 漁業継承コースの実践研修における研修費
 マルチ人材育成コースの実践研修における研修費および指導謝金
- ・ 漁業就業希望者事前実地研修事業
 新規に漁業就業を希望している者に対する事前研修を受け入れた漁家への指導謝金

事業の実施状況（DO）

No.	研修コース	研修期間	うち令和6年度	研修する漁業種類
1	漁業継承コース	令和5年1月～令和6年12月	9ヶ月	一本釣、定置、あご網
2	漁業継承コース	令和5年7月～令和7年6月	12ヶ月	蛸壺、あご網、刺網、カゴ
3	スマート人材育成コース	令和5年7月～令和6年6月	3ヶ月	定置
4	スマート人材育成コース	令和6年1月～令和7年2月	11ヶ月	一本釣

ほか、定置網漁業に関する事前実地研修を2名、計3日間実施

事業実施による成果（CHECK）

市内の漁家子弟4名が、本事業を活用し実践研修を受講したことで、操船技術、漁具作成、漁労機械操作など操業技術全般の習得に寄与することができた。

また、県外から2名の事前実地研修生を受け入れた。うち1名については地域の漁業担い手として就業しており、漁業後継者の育成・確保にも寄与することができた。

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 漁業就業実践研修者	人	2	4	4	4	4	年度
② 漁業就業希望事前実地研修者	人	0	0	0	5	2	年度

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点

I J ターン者の研修受け入れについては、地元漁家出身者と比べ操業開始に係る初期投資が高いことや、就業後十分な収入を得ることができず離業してしまうケースが他市で報告されているため、本市では事業活用に慎重な姿勢をとってきた。
 しかし、定置網漁業等の雇用型漁業を中心に地元漁業者らの受け入れ体制が整いつつあることや、後継者不足が深刻化していることから、地域の漁業を支える重要な人材を確保するため、研修制度の継続と併せて若年層のI J ターン者に対しても漁業就業の手助けとなる取組みを継続する必要がある。

今後の方針

G A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続

事 業 評 価 シ ー ト

事業名	漁業後継者経営支援事業						担当課	水産課		
予算科目	6 款	3 項	2 目	総合計画施策体系	1	1	2	3	実施年度	令和元年度 ～ 令和9年度

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費	2,707	3,671	1,152	4,628	4,796	8,200
国県支出金						
地方債						
その他	2,707	3,671	1,152	4,628	4,796	8,200
一般財源						

事業の目的及び内容（PLAN）
<p>【事業目的】 漁業後継者の確保・定着を促進するため、若手漁業者が行う経営の安定化及び水産物の付加価値向上につながる漁船機器等の導入を支援することにより、本市の基幹産業である漁業の持続的な生産と漁村地域の活力維持を図る。</p> <p>【事業内容】 ・ 漁船用機器又は漁労用機械の整備に対する支援： 補助率 1/2（上限500千円） ・ 品質管理に関する漁船用機器等の整備に対する支援： 補助率 2/3（上限666千円）</p> <p>補助対象：市内在住の45歳未満の者で、所属する漁協の推薦が得られる者</p>

事業の実施状況（DO）
<p>漁船用機器又は漁労用機械の整備（10件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 導入機器：船外機、魚群探知機、潮流計、集魚灯用発電機等 ・ 補助対象事業費 計11,976千円 ・ 補助金 計4,796千円

事業実施による成果（CHECK）
<p>先代から継承した機器類の更新や、新たに着手予定の漁法に要する機器類の導入について費用の一部を支援したことで、操業の効率化及び安定した操業体制の確保により、本市の漁業の持続的な生産と漁村地域の活力の維持に寄与することができた。</p>

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 漁船用機器又は漁労用機械の整備	件	6	9	3	10	10	年度

事業の改善（ACTION）	
事業実施に係る課題及び改善点	<p>昨今の物価高騰など社会情勢に対応するため、補助上限額の見直しを行う必要がある。 また、最新機器やスマート漁業に関する意識醸成を図り、市内若手漁業者の漁業定着及び地域漁業後継者を確保するため、視察研修に係る費用に対する支援内容を拡充する必要がある。</p>
今後の方針	<p style="text-align: center;">A A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続</p>

1. 各方策の実施状況（総合戦略から抜粋）	
基本目標	2. 産業の振興～しごとをのばすプロジェクト～
方策名	ウ) 観光の振興
方策の概要	観光のグローバル化や世界遺産登録、平戸城宿泊施設オープン等で本市を訪れる外国人観光客は更に増えることが予想されることから、DMOを中心として、外国人スタッフの雇用など受入体制を再整備し、誘客を図るとともに、キャッシュレス化の推進により地元消費の促進につなげていきます。
	国内外での平戸の認知度向上を図るため、SNSを活用した観光情報の発信のほか、VR観光の推進や観光ツールの電子書籍化等を行い、平戸観光プロモーションの強化を図ります。
	魅力ある観光地形成に向け、地域に点在する空き家等を活用し、まち全体でもてなす体制を構築し、食をコンセプトにした滞在型観光や農泊・体験観光を推進しながら、市内全域への観光客の回遊及び交流人口の拡大に取り組みます。
	観光消費額増加及び観光客の満足度向上を図るため、稼ぐ観光地域づくりを目指す平戸版DMOに対して支援を行うとともに、学生インターンの活用等、観光人材の育成を推進します。

2. 実施した主な事業一覧					
No.	事業名	所管課	事業開始年度	所管課評価	ページ
1	アルベルゴ・ディフーズタウン受入体制支援事業	商工物産課	令和6年度	継続	30
2	平戸版DMO推進事業	観光課	令和元年度	継続	31
3	アドベンチャーツーリズム事業	観光課	令和3年度	継続	32
4	ナイトミュージアム事業	観光課	令和5年度	継続	33
5	アルベルゴ・ディフーズタウン推進事業	観光課	令和5年度	継続	34
6	インバウンド向け旅行商品化促進事業	観光課	令和2年度	継続	35

事業評価シート

事業名	アルベルゴ・ディフーズタウン受入体制支援事業							担当課	商工物産課	
予算科目	7 款	1 項	2 目	総合計画施策体系	1	1	3	3	実施年度	令和6年度～

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費					2,138	1,300
国県支出金						
地方債						
その他					2,138	1,250
一般財源						50

事業の目的及び内容（PLAN）

<p>【事業目的】 アルベルゴ・ディフーズタウンスタートアップ認証のモデル地区である平戸城下町エリアに観光客を誘客するため、地域資源の発掘及び活用と先進地域の取り組みの調査研究を行い、平戸城下町エリアのにぎわいを創出する。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし推進協議会の設立、運営委託 ・先進地視察研修 ・おもてなし講座及び研修会の開催他

事業の実施状況（DO）

<p>1 おもてなし推進協議会 開催回数：10回（6～3月）</p> <p>2 視察研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所：愛媛県大洲市 ・日程：10月27～28日 1泊2日 ・参加者：11名 <p>3 講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：『まちを楽しむまちづくり』元気な商店街は人の繋がりにから 経済産業省の「地域にかがやくわがまち商店街2024」に表彰された、歴史的街並みやアルベルゴ・ディフーズタウンなど平戸市と共通点のある矢掛町のまちづくり実践の秘訣について ・場所：平戸市文化センター 会議室C ・日程：12月7日 ・参加者：38名

事業実施による成果（CHECK）

<p>アルベルゴ・ディフーズタウンのスタートアップ認証を受け、モデル地区である北部商店街エリアの商店主等で構成する「アルベルゴディフーズタウンおもてなし運営協議会」を設立し、ワークショップを通じた地域資源の再発掘や商店主の個々の接客姿勢に対するあり方など協議することができ、今後の観光客等の受け入れに対する意識情勢につなげることができた。</p>

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	今後の活動計画を組み立てるため、アルベルゴディフーズタウンおもてなし推進協議会の運営について、引き続き有識者からのアドバイスなど継続的な取り組みを検討する必要がある。					
今後の方針	G	A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続				

事業評価シート

事業名	平戸版DMO推進事業							担当課	観光課	
予算科目	7款	1項	4目	総合計画施策体系	5	1	1	1	実施年度	令和元年度～

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費	37,828	19,508	24,908	26,516	25,403	34,296
国県支出金	15,948	4,842	10,307	8,073	8,031	9,298
地方債						
その他						
一般財源	21,880	14,666	14,601	18,443	17,372	24,998

事業の目的及び内容（PLAN）

【事業目的】

観光地経営の視点に立った稼ぐ観光地づくりを目指すため、マーケティングに基づいた事業戦略の実施や農業・漁業・商業・地域団体との連携強化や事業等を行い、地域DMOによる観光振興を目的とする。

【事業内容】

国内の販売会等の営業をはじめ観光素材集の作成や旅行商品の開発のほか、国内外への営業や情報発信による誘客を展開する。
また、マーケティング、満足度調査や分析のほか、地域DMOの優位性を活かした補助事業やDMO登録更新に取り組む。

事業の実施状況（DO）

平戸版DMO推進事業

- ・ 営業：国内誘致活動 5回 海外誘致活動 5回
- ・ 観光宣伝ツール：観光素材集制作
- ・ まちかど観光案内所巡回：67か所
- ・ DMOセミナー：1回
- ・ インターネット活用事業：SNSやホームページによる情報発信
- ・ 国の支援事業活用：4事業（インバウンド消費の拡大・質向上推進事業、訪日外国人旅行者周遊促進事業、共創実証モデル事業、DMOにおける持続可能な観光地経営のための課題分析等支援事業）

事業実施による成果（CHECK）

令和6年3月に地域DMOの更新登録を行い、その優位性を活かして観光庁補助事業へ積極的に応募した結果、4件が採択された。これらの事業では、文化財等を活用した高付加価値観光商品の造成、アドベンチャーリズム体験コンテンツの構築、持続可能な観光地としての位置づけに向けた観光地経営の調査・検証に取り組み、本市の観光振興に寄与した。

また、国内外における営業活動及び商談会に積極的に参加し、誘客活動を実施するとともに、SNSなどを活用した情報発信を行うことにより誘客促進につなげることができた。

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 国の採択事業	事業	-	1	2	4	4	年度

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	地域DMOの優位性を活かし、国等の支援事業を活用しながら、観光需要の拡大と地域活性化につなげる観光地づくりに取り組む必要がある。							
今後の方針	G	A拡大	B縮小	C統合	D廃止・休止	E事業完了	F改善・見直し	G継続

事業評価シート

事業名	アドベンチャーリズム事業							担当課	観光課
予算科目	7 款	1 項	4 目	総合計画施策体系	5	1	5	2	実施年度 令和3年度～

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費		22,433	9,036	9,801	12,472	9,710
国県支出金		16,822				
地方債						
その他		5,611	9,036	9,801	12,472	9,710
一般財源						

事業の目的及び内容（PLAN）

<p>【事業目的】 「自然」「文化」「アクティビティ」の要素を取り入れたアドベンチャーリズムの新たな旅行商品の開発を行い、観光客の誘客や観光消費額の増加を図ることを目的とする。</p> <p>【事業内容】 アドベンチャーリズムの要素を取り入れた、旅行商品の企画をはじめ、旅行商品販売にて滞在時間の延長や観光誘客を行う。</p>

事業の実施状況（DO）

<p>アドベンチャーリズムの概念に基づいた旅行商品の企画や販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クルージング事業：192人 ・アドベンチャーリズム旅行商品造成：4件 ・フォトロゲイニング事業：155人

事業実施による成果（CHECK）

<p>1 クルージング事業における環境配慮の取組 近年、観光地においては「持続可能な観光地づくり」やSDGsへの対応が求められていることから、本市においても環境に配慮した先進的な取組みとしてクルーズ船の燃料には、従来使用していた重油に代わり、宿泊施設等から排出される使用済み天ぷら油などの廃油を精製したバイオディーゼル燃料を使用した。 これにより、観光や市民生活から生じる廃棄物の資源化を図り、循環型社会の実現に資する実証的な取組みとした。 また、クルージングと電動アシスト自転車（Eバイク）との連携による観光商品の展開を図り、環境負荷の低減とともに地域内の回遊性向上を促進した。</p> <p>2 アドベンチャーリズムに関する商品造成 地域資源を活用した体験型観光の創出を目的に、アドベンチャーリズムの観点から以下の4コースを造成した。 ・平戸田平地区コースでは、自然景観と歴史資源を組み合わせた周遊体験を提供した。 ・平戸生月島コースでは、かつての捕鯨文化をテーマに歴史的背景を学ぶコースを展開した。 ・的山大島コースでは、2コースを造成し、国指定重要伝統的建造物群保存地区を地元ガイドの案内により巡る街歩き体験と海岸で採取した天然シーグラスを活用したクラフト体験を実施し、自然とのふれあいと創作活動を融合させた体験を造成した。</p> <p>3 フォトロゲイニング事業の推進 観光客の滞在時間延長および観光消費額の増加を目的として、新たに崎方町から魚の棚町に至る商店街通りをルートに設定し、観光客の誘導を図った。 また、商店街を巡る仕組みを構築したことで、地域内での消費を喚起し、観光消費額の増加および商店街の活性化に寄与した。</p>

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	今後は、スルーガイドが求められていることから、語学が堪能なガイドなどの人材確保が必要である。									
今後の方針	G	A 拡大	B 縮小	C 統合	D 廃止・休止	E 事業完了	F 改善・見直し	G 継続		

事業評価シート

事業名	ナイトミュージアム事業							担当課	観光課	
予算科目	7 款	1 項	4 目	総合計画施策体系	5	1	1	2	実施年度	令和5度～

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費				9,652	9,810	16,185
国県支出金						8,092
地方債						
その他				9,652	9,810	8,043
一般財源						50

事業の目的及び内容（PLAN）

【事業目的】

歴史的資産（平戸城・亀岡神社・平戸オランダ商館など）のライトアップを行い夜間周遊観光の充実を目的とする。

【事業内容】

市内に点在する歴史的資産において、ライトアップイベントを開催し、観光誘客、滞在時間の延長に取り組む。

事業の実施状況（DO）

- 1 平戸ナイトミュージアム
 - ・期日：令和6年11月1日～令和7年1月13日
 - ・時間：18時～21時30分
 - ・会場：平戸城、亀岡神社、平戸オランダ商館、平戸港交流広場

- 2 平戸城さくらまつり
 - ・期日：令和7年3月21日～令和7年3月31日
 - ・時間：18時30分～21時
 - ・会場：亀岡神社

事業実施による成果（CHECK）

夜間ライトアップイベントを開催し、夜間における周遊観光の充実を図った。
また、ガストロノミー体験や平戸迎賓館体験（ナイトツアー）と連携することで、観光消費額の増加および滞在時間の延長につなげることができた。

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 平戸ナイトミュージアム来場者数	人				8,048	9,138	年度
② 平戸城さくらまつり来場者数	人				715	840	年度

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点

本事業の来場者数は前年度を上回り、一定の成果を挙げている。
一方で、ライトアップ単体での訴求力には弱さがあり、滞在型観光へと結びつけるためには、より強いコンテンツの形成が求められている。令和6年度に鄭成功生誕400周年記念事業として実施した「鄭成功ランタンナイト」では、多くの来場者を集め、特に夜間における視覚的演出の効果が高く評価された。
この成果を踏まえ、今後の「平戸ナイトミュージアム」事業においては、単なるライトアップにとどまらず、ストーリー性や歴史性を活かした演出や照明の工夫を取り入れるとともに、他イベントと連携した展開を進めることで、観光地としての魅力の向上と誘客の強化を図る必要がある。

今後の方針

G A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続

事業評価シート

事業名	アルベルゴ・ディフーズタウン推進事業							担当課	観光課
予算科目	7 款	1 項	4 目	総合計画施策体系	5	1	1	2	実施年度 令和5度～

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費				17,519	69,717	62,660
国県支出金				17,503	6,286	8,966
地方債						
その他					61,737	53,642
一般財源				16	1,694	52

事業の目的及び内容（PLAN）

<p>【事業目的】 地域の一定のエリアの空き家や古民家などを宿泊施設、飲食店などの観光事業につなげる「アルベルゴ・ディフーズタウン」の推進を目的とする。</p> <p>【事業内容】 アルベルゴ・ディフーズタウン認証に向けた地域の空き家等の利活用を促進するため、市内で2地区（城下町エリア・田助エリア）の整備に向け支援を行う。</p>

事業の実施状況（DO）

<p>1 調査事業：歴史的資源を活用した観光まちづくり推進事業（事業化支援） 城下町エリアの空き家3棟に係る資産活用調査等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源活用調査 空き家情報の中から、宿泊施設への利用可能な物件の調査 ・地域合意形成・アドバイス支援 アルベルゴ・ディフーズの説明やワークショップの開催 ・資源活用計画 改修予定物件のイメージパース図の作成 ・平戸市アルベルゴ・ディフーズタウン調査報告書作成 令和6年度調査物件（3棟）の調査報告書の作成 <p>2 改修補助事業：平戸市アルベルゴ・ディフーズタウン推進事業補助金 モデル地区内（城下町エリア・田助エリア）にある家屋を宿泊施設や飲食施設に改修するための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城下町エリア：宿泊施設2棟、飲食施設2棟 ・田助エリア：宿泊施設1棟

事業実施による成果（CHECK）

<p>市内で2地区（城下町エリア・田助エリア）の整備を行ない、世界初の「アルベルゴ・ディフーズタウン」の自治体として認証を受けることができた。</p>

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	古民家等を活用した宿泊施設は全国的に広がっているが、他地域にはない平戸らしい歴史や風土を活用した観光地域づくりや受入体制を構築する必要がある。									
今後の方針	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 5%;">G</td> <td style="width: 5%;"></td> <td style="text-align: center; width: 10%;">A 拡大</td> <td style="text-align: center; width: 10%;">B 縮小</td> <td style="text-align: center; width: 10%;">C 統合</td> <td style="text-align: center; width: 10%;">D 廃止・休止</td> <td style="text-align: center; width: 10%;">E 事業完了</td> <td style="text-align: center; width: 10%;">F 改善・見直し</td> <td style="text-align: center; width: 10%;">G 継続</td> </tr> </table>	G		A 拡大	B 縮小	C 統合	D 廃止・休止	E 事業完了	F 改善・見直し	G 継続
G		A 拡大	B 縮小	C 統合	D 廃止・休止	E 事業完了	F 改善・見直し	G 継続		

事業評価シート

事業名	インバウンド向け旅行商品化促進事業							担当課	観光課	
予算科目	7 款	1 項	4 目	総合計画施策体系	5	1	4	2	実施年度	令和2年度～

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費	26,989	29,606	3,000	2,999	835	3,000
国県支出金	8,614	14,583	1,500	1,500	417	1,500
地方債						
その他	18,375	15,023	1,500	1,499	418	1,500
一般財源						

事業の目的及び内容（PLAN）

【事業目的】

令和3年4月から開業した平戸城懐柔櫓宿泊施設の富裕層やインバウンド誘客に向けた旅行商品の造成やプロモーションにより更なる観光誘客を図ることを目的とする。

【事業内容】

平戸城泊やガストロノミー体験など、高付加価値な旅行商品の造成および販売促進に取り組む。
また、インバウンド向けの情報発信として、台湾で人気のテレビ番組を活用し、平戸城泊、鄭成功関連施設、その他の観光施設等のプロモーションを実施する。併せて、団体・教育旅行の誘致事業として、台湾の中学校、高等学校、大学を対象とした教育旅行の営業活動を展開する。

事業の実施状況（DO）

- 高付加価値な旅行商品の造成および販売促進事業
商品造成販売促進のため、旅行会社15社と商談を行った。
- インバウンド向けの情報発信事業
台湾の人気テレビ番組で60分間本市の観光施設等が放送された。
- 団体・教育旅行の誘致事業
旅行会社や行政関係団体、学校関係者と20回商談を行った。

事業実施による成果（CHECK）

JNTO主催の商談会にて旅行会社と商談を行うことにより、高付加価値な旅行商品の造成及び販売促進に寄与することができた。

また、台湾で10年以上続く国民的人気のテレビ番組において、本市の平戸城や鄭成功記念館などの観光資源をPRするとともに、台湾の旅行会社や行政・教育旅行関係者を対象に営業活動を実施し、インバウンド向けの観光誘客に寄与することができた。

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 城泊宿泊数	人		12	14	11	36	年度
② 平戸城入館者数	人		51,874	61,346	53,366	55,499	年度

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点

団体・教育旅行の誘致事業における商談では、台湾側の教育旅行において、同国の旅行費補助の要件として本市の学校との交流が必須とされており、受け入れ側となる本市の学校や関係機関にかかる負担が課題となっている。
また、今後は教育旅行において相互交流が求められる傾向が強まっており、年々誘致の難易度が高まっている。

今後の方針

G A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続

1. 各方策の実施状況（総合戦略から抜粋）	
基本目標	2. 産業の振興～しごとをのばすプロジェクト～
方策名	エ) 地域ブランドの推進
方策の概要	豊かな自然の恵みから生み出される農林水産品・加工品の平戸産品を積極的に情報発信し、取引拡大と認知度向上を図ります。
	平戸産品が年間を通じて「知る」「味わう」「購入することができる」拠点としてアンテナショップを整備し、平戸産品のプロモーションと取引拡大を図ります。
	中小企業・小規模企業の振興のため、多様化した消費者ニーズに合致した販売・流通スタイルを構築する必要があることから、商店街内外において新たなビジネスチャンスの場の創出や、企業の持続的な成長を支援することで、地域経済の活性化を図ります。
	これまで「ふるさと納税」で寄付をいただいた寄付者が、長期的に応援してもらえるような取組みを実施するとともに、新たな寄付者を募り、平戸産品のPRにつなげます。

2. 実施した主な事業一覧					
No.	事業名	所管課	事業開始年度	所管課評価	ページ
1	持続可能型平戸産品流通商社構築事業	商工物産課	令和3年度	継続	38
2	平戸ブランド戦略的プロモーション推進事業	商工物産課	平成20年度	継続	39
3	平戸産品販路開拓商社構築事業	商工物産課	令和4年度	継続	40
4	平戸あごブランド定着促進事業	商工物産課	令和6年度	継続	41
5	6次産業化推進事業	商工物産課	平成27年度	継続	42

事業評価シート

事業名	持続可能型平戸産品流通商社構築事業							担当課	商工物産課
予算科目	7 款	1 項	2 目	総合計画施策体系	1	1	4	1	実施年度 令和3年度～

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費		14,694	18,172	19,315	22,904	20,000
国県支出金		7,143	8,133	9,353		
地方債						
その他		5,527	10,039	9,962	20,049	20,000
一般財源		2,024			2,855	

事業の目的及び内容（PLAN）
<p>【事業目的】 首都圏に本市単独のアンテナショップを出店し地場産品の年間を通じた販売とPRを行うとともに、平戸市公式オンラインショップで本市産品を販売することによる生産者の所得向上と本市産品のブランディングを図ることを目的とする。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物販型平戸市アンテナショップの運営 ・飲食型平戸市アンテナショップの運営 ・平戸市公式オンラインショップの運営

事業の実施状況（DO）
<p>1 物販型平戸市アンテナショップの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店名：有楽町ひらど商館 場所：東京都千代田区有楽町東京交通会館B1F 内容：本市産品の販売 <p>2 飲食型平戸市アンテナショップの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店名：平戸こんね 有楽町店 場所：東京都千代田区有楽町東京交通会館B1F 内容：本市産品を使用したメニューの提供 ・店名：平戸こんね 駒込店 場所：東京都北区中里1-5-11 内容：本市産品を使用したメニューの提供 <p>3 平戸市公式オンラインショップの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイト名：平戸商店 サイトURL：https://hiradoshouten.com/ 内容：本市産品のオンライン販売

事業実施による成果（CHECK）
<p>全国のアンテナショップが集まり、集客力・訴求力のある銀座・有楽町に物販及び飲食店舗のアンテナショップを出店することにより、年間を通じて平戸産品を「知る」、「買う」、「味わう」ことができる販売展開ができた。</p> <p>また、令和7年1月に飲食型アンテナショップ2号店をオープンし、取扱量の増加、新規顧客の獲得につなげ、事業売上を増加することができた。</p> <p>平戸市公式オンラインショップについては、サイトシステムの改善による休止に伴い、年間のページビュー数は23,843PV（令和5年度 185,701PV）、サイトの閲覧者数は7,479人（令和5年度 76,675人）と減少した。</p>

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 物販型平戸市アンテナショップ売上額	千円		13,199	14,596	15,677	19,019	年度
② 飲食型平戸市アンテナショップ売上額	千円		9,596	9,849	30,780	45,132	年度
③ 平戸市公式オンラインショップ売上額	千円			2,139	2,150	566	年度

事業の改善（ACTION）	
事業実施に係る課題及び改善点	<p>物販型アンテナショップは売上げが増加しており、新規顧客獲得に向けた販促イベントや取り扱い産品のブラッシュアップによる成果が得られている。</p> <p>飲食型アンテナショップについては、店舗数の増加に伴い売上げが増加しているが、SNS等を使用した情報発信力が不足していることから、定期的な情報発信を行うことで更なる売上増加につなげていく。</p> <p>オンラインショップについては、商品のブラッシュアップを行い、商品紹介写真やページデザインの変更を行い、購入率の上昇を目指し、顧客ニーズに即した販売戦略を模索していく。</p>
今後の方針	<p style="text-align: center;">G A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続</p>

事業評価シート

事業名	平戸ブランド戦略的プロモーション推進事業							担当課	商工物産課	
予算科目	7款	1項	2目	総合計画施策体系	1	1	4	1	実施年度	平成20年度～

事業費(千円)	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費	27,568	13,000	10,000	10,000	10,000	10,000
国県支出金						
地方債	22,800	10,800	8,100	8,100	9,000	9,000
その他	1,000	1,000	1,000			
一般財源	3,768	1,200	900	1,900	1,000	1,000

事業の目的及び内容 (PLAN)

【事業目的】

市内の生産者や関係団体と連携し「平戸」の認知度向上と地場製品の取引・販路拡大を図るため、アンテナショップ(拠点店舗)への集客や販売促進、物産展など効果的なプロモーション活動に取り組む。また、この取組みにより地元生産者・加工業者等の所得向上、交流人口の拡大等へとつなげることを目的とする。

【事業内容】

- ・アンテナショップ宣伝事業(平戸市アンテナショップ及び共同アンテナショップでの販売促進・プロモーション)
- ・物産展開催事業(首都圏及び都市圏での物産展及びフェアの開催)
- ・生産者販路開拓サポート事業(福岡都市圏で開催の商談会での「平戸ブース」及び「平戸あご」ブース出展)

事業の実施状況 (DO)

- 1 アンテナショップの販売促進・プロモーション
 - ・平戸市アンテナショップ:出張販売3回、周年祭、福袋販売、ひらめまつり、オープンレセプションほか
- 2 物産展及びフェア
 - ・首都圏5か所同時開催「平戸あご祭り」
有楽町ひらど商館、平戸こんね、銀座マルシェ、とれたて村、あつまる
 - ・福岡三越(ポップアップショップ)
 - ・高松三越(平戸コーナー設置)
 - ・岩田屋久留米店(毎月第3木曜日朝市出店)
 - ・羽田産直館(平戸あごフェア)
- 3 商談会出展
 - ・フードスタイル九州 福岡市開催 平戸ブース5事業者 平戸あごブース5事業者

事業実施による成果 (CHECK)

- 1 平戸市アンテナショップの販促イベントの実施により、店舗、商品のプロモーションが図られ売上増加につながった。
- 2 首都圏複数個所での同時物産フェア、百貨店における定期的な販売により、産品PRと年間取引の獲得へとつながった。
- 3 展示会「フードスタイル九州」に出展し、地場製品の販路拡大を図るとともに、バイヤー等にあごの産地としてのPRが行え、取引獲得へとつながった。
 - ・販売、取引実績:100,681千円
(内訳:首都圏67,295千円、関西圏5,117千円、福岡都市圏14,940千円、その他13,329千円)
 - ・新規平戸産品取扱店舗:16件

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 販売・取引実績額	千円	53,822	57,042	78,718	90,222	100,681	年度
② 平戸産品取扱店舗	件	74	69	78	72	73	年度

事業の改善 (ACTION)

事業実施に係る課題及び改善点

事業実施主体であった平戸市地域資源ブランド化推進協議会については、一定の成果が得られたことから令和7年6月をもって解散し、地場産品を域内外に個別販売を行い地域経済の活性化を図る地域商社機能を有した事業者等で構成する新たな組織で、民間が主体となった事業に取り組んでいく。

今後の方針

G A拡大 B縮小 C統合 D廃止・休止 E事業完了 F改善・見直し G継続

事業評価シート

事業名	平戸産品販路開拓商社構築事業							担当課	商工物産課	
予算科目	7 款	1 項	2 目	総合計画施策体系	1	1	4	2	実施年度	令和4年度～

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費			12,000	13,870	12,000	12,000
国県支出金			6,000	6,000		
地方債						
その他			6,000	7,870	12,000	12,000
一般財源						

事業の目的及び内容（PLAN）

【事業目的】

個別の生産者では難しい年間を通じた物産流通（取引営業）については行政が主体となり事業を実施している。これらの事業を、行政から民間が主体となった事業にシフトし、物産振興、産品プロモーションを図りつつ、生産者と連携した新たな魅力ある商品開発など、地域の物産資源を域内外に流通した収益により継続的に事業を行う組織を構築することを目的とする。

【事業内容】

- ・新商品の開発に関する事
- ・地場産品の販路開拓に関する事
- ・物産展等での地場産品の販売に関する事
- ・平戸フェアの開催に関する事
- ・平戸市アンテナショップに関する事

事業の実施状況（DO）

- 1 新商品の開発 11品（あご缶（醤油煮）、あご缶（南蛮漬け）、あご焼小籠包、おかのご飯（あご雑炊）、おかのご飯（あごリゾット）、あごの身ぼろぼろ（あごそぼろ）、あごキーマカレー、とびまるステッカー、とびまるキーホルダー、飛魚文字ステッカー、旬あごセット）
- 2 地場産品の販路開拓 5か所（福岡三越、高松三越、久留米岩田屋、武雄書店、音羽すし）
- 3 物産展等 6回（県内5回、福岡都市圏1回）
- 4 平戸フェアの開催 1回（羽田産直市）
- 5 平戸市アンテナショッププロモーション（有楽町ひらど商館、平戸こんね 有楽町店、平戸こんね 駒込店）

事業実施による成果（CHECK）

アンテナショップの運営が安定化したことで、新たな収益の柱として新商品開発の事業展開が図られた。開発商品においては、地域の魅力を高めるため「あご」に特化したこれまでにない商品が開発され、新たな販路の獲得と、他事業者の商品と連携した営業活動につなげることができた。

販路開拓においては、岩田屋三越と連携した物産フェアを重ねることで年間を通じた取引が確立されたほか、店舗内鮮魚店での平戸産鮮魚の取引商談につなげることができた。

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 地域商社にて開発された新商品開発数	品			2	7	11	年度
② 地域商社事業による売上	千円			12,090	53,749	75,054	年度
③ 地域商社が取引する生産者数	者			47	39	39	年度
④ 地域商社によって開拓された新規取引先件数	件				2	12	積上

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点

更なる収益確保には、事業の拡大または取引量の拡大が求められるが、本事業受託者である平戸観光協会の担当職員2名によりアンテナショップ運営、新商品開発、営業活動、売上管理と業務内容が多岐に渡っていることから、業務の効率化と適切な人員配置を検討し販売促進を強化していきたい。

今後の方針

G A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続

事業評価シート

事業名	平戸あごブランド定着促進事業							担当課	商工物産課	
予算科目	7 款	1 項	2 目	総合計画施策体系	1	1	4	2	実施年度	令和6年度～

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費					2,500	13,000
国県支出金						
地方債						
その他					2,500	13,000
一般財源						

事業の目的及び内容（PLAN）

【事業目的】

本市を代表する特産品のひとつである「あご」の加工品、飲食メニューなどを充実させるとともに、イベント等でのプロモーションを実施することにより、企業や消費者に「あごの産地」としての認知度を高め、産地ブランドの定着化を図ることを目的とする。

【事業内容】

- ・ あごを活用した新商品開発
- ・ 平戸あごキャラクターの制作
- ・ あごイベントの開催及び情報発信
- ・ 商談会への平戸あごブースの出展
- ・ 市内飲食店でのあごの活用
- ・ 平戸あごのロゴマーク制作
- ・ 地域団体商標登録に向けた取組み

事業の実施状況（DO）

- 1 あごを活用した新商品開発（加工品14品、飲食メニュー1品）
- 2 平戸あごキャラクターの制作（キャラクター名「とびまる」）
- 3 あごイベントの開催及び情報発信（「平戸新あご・新米まつり」のテレビCM放送）
- 4 商談会への平戸あごブースの出展（出展者数：5事業者）
- 5 市内飲食店でのあごの活用（新規提供店舗：1店舗）
- 6 平戸あごのロゴマーク制作（「平戸あご」のロゴマーク確定）
- 7 地域団体商標登録に向けた取組み（地域団体商標登録に向けた専門家のアドバイス）

事業実施による成果（CHECK）

これまでにないバリエーションに富んだあご商品が開発され、新たな販路の獲得、あごの産地としての魅力アップにつなげることができた。
 また、平戸あごPRキャラクターの着ぐるみを制作したことにより、市内の各イベントでの活用やグッズ製作などへとつながり市内外において、代表特産品としての定着化につながった。
 商談会においては、平戸あごブースを設置したことで、パイヤーや食品関係企業に産地としてのPRが図れたほか、あご商品の新たな取引を獲得することができた。
 「平戸あご」ロゴマークを制作したことで、商品パッケージ、物産展、広告宣伝等、様々な周知活動において活用できることとなり、地域団体商標登録に向けて地域が一体となった取組みへとつなげることができた。

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	あご加工品については充実してきたが、飲食店における活用が乏しいことから、メニュー開発や広告宣伝等のサポートを行い活用店舗を増やしていく必要がある。 「平戸あご」の地域団体商標登録に向け、関係団体や生産事業者のあごブランド化への意識が高まりつつあることから、民間が主体性をもった継続事業へとつなげていきたい。							
今後の方針	G	A 拡大	B 縮小	C 統合	D 廃止・休止	E 事業完了	F 改善・見直し	G 継続

事業評価シート

事業名	6次産業化推進事業							担当課	商工物産課	
予算科目	7款	1項	2目	総合計画施策体系	1	1	4	2	実施年度	平成27年度～

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費	5,588	6,194	9,227	6,260	6,264	9,354
国県支出金						
地方債						
その他	5,562	6,000	9,000	6,000	6,000	9,000
一般財源	26	194	227	260	264	354

事業の目的及び内容（PLAN）

【事業目的】

農山漁村の有形無形な地域資源をさらに有効活用するため、1次生産者が原料供給者としてだけでなく、加工（第2次産業）、販売・流通（第3次産業）に取り組み、経営の多角化を進めることで所得の向上や雇用の確保を図るとともに、地域全体を活性化させることを目的とする。また、1次生産者と2次、3次事業者の連携、加工事業者による商品開発を推進し、本市の物産の魅力を高める。

【事業内容】

- ・農林水産物及び本市の歴史的価値を活かして加工製造される新商品開発の取組みに対して支援を行う。
施設、機械設備及び販売促進に要する経費の2/3 補助限度額 3,000千円
- ・商品開発、販路開拓に関するセミナー及び相談会の開催

事業の実施状況（DO）

- 1 新商品開発総合支援事業
 - ・申請件数：2件、採択件数：2件（新商品開発総合支援事業補助金 300万円×2件）
 - ・開発された新商品：あご味噌、だしパウダー、パウダー粗目、鯛の刺身燻製、ヒラマサ刺身の燻製、ブリ刺身の燻製、いりこ佃煮の燻製、醤油の燻製、玉ねぎドレッシングの燻製
- 2 6次産業化事業相談
個別相談件数：4件（新商品開発3件、施設整備1件）
- 3 セミナー
10/18 商談展示会事前セミナー（参加者：9名）

事業実施による成果（CHECK）

- 1 新商品開発総合支援事業
本事業により新商品が9品開発され、本市特産品の充実につながった。
- 2 6次産業化事業相談・セミナー
新商品開発に関する相談が4件あり、そのうち2件が新商品開発につながった。
- 3 6次産業化セミナー
平戸市としてエントリーした商談会の参加者向けに、ディスプレイや商談方法など、出展時のポイントについてセミナーを開催し効果を高めた。

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 支援件数	件	2	2	3	2	2	年度
② 相談件数	件	7	4	7	6	4	年度
③ セミナー開催数	回	1	0	1	1	1	年度

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点

事業計画の組み立てにおいては、消費者ニーズの把握や原価計算など、商品開発のノウハウが不足していることが多いことから、6次産業化アドバイザーや商工会議所・商工会等と連携し、開発から販売までつながる事業計画策定の支援を行っていく。
また、これまで支援した1次生産者においては、引き続き新たな商品開発を意欲的に取り組んでいる事業者が多いことから、補助事業終了後も定期的な情報交換やアドバイス等を行い、本市特産品の充実を図る必要がある。

今後の方針

G A拡大 B縮小 C統合 D廃止・休止 E事業完了 F改善・見直し G継続

1. 各方策の実施状況（総合戦略から抜粋）	
基本目標	2. 産業の振興～しごとをのばすプロジェクト～
方策名	オ) 持続可能な地域経済の確立
方策の概要	営農にかかる労力不足が深刻な問題となっていることから、地域の実情に即した労力支援組織の育成や外国人材等、新たな労働力の活用を推進します。
	市内中小企業等の経営者の高齢化が進む中、商工団体等と連携して事業者の円滑な事業承継の推進に向けた取組みを支援します。
	本市の農林水産業や地域資源に着目した高等教育機関の誘致に取り組み、産業人材の確保育成に取り組みます。また、市内の高等学校と連携した「ふるさと教育」や「キャリア教育」に取り組み、地域や地場産業を支える人材の育成に取り組みます。
	農畜産物の効率的かつ安定的な生産体制を構築し、持続可能な農業基盤及び多様な担い手が農業に参入しやすい環境を構築するため、「スマート農業」の取組みを推進します。
	ICT等の先端の情報技術を活用し、資源管理の強化や操業における省力化、漁獲物の高付加価値化等のために、国県等の動向を見据えながら「スマート水産業」による取組みを支援します。
	先進技術やノウハウを持つ市内外の人材や民間事業者等と積極的に連携し、本市産業の維持・発展に資する取組みを推進します。
	本市産業の維持・振興、鉄道や船舶等も含めた公共交通のネットワーク化及び地域再生の実現に向け、道路の一体的整備を図ります。

2. 実施した主な事業一覧					
No.	事業名	所管課	事業開始年度	所管課評価	ページ
1	サーキュラーエコノミー型ビジネス創出支援事業※P13掲載済	商工物産課	令和6年度	継続	13
2	産地を支える人材確保推進事業※P18掲載済	農業振興課	平成29年度	継続	18
3	農業発展サポート事業※P23掲載済	農業振興課	令和6年度	継続	23

平戸市総合戦略 個別施策の進捗状況（令和6年度実施）

1. 基本的事項	
基本目標	3. 子育て支援 ～ひとをそだてるプロジェクト～
目標を達成するための方策	ア) 妊娠・出産・育児への切れ目ない支援
	イ) 教育環境の整備

2. 数値目標								
数値目標	単位	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
合計特殊出生率		2.40	2.36	2.33	2.09	1.67	2.02	2.40
20歳から49歳までの社会増減数	人/年	△ 129	△ 82	△ 103	△ 28	△ 91	△ 62	△ 93
学校教育活動に対する評価（4段階評価）		3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5

3. KPI（重要業績評価指標）								
KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
平戸市で子育てをしたいと思う親の割合（健やか親子21調査項目）	%	94.9	90.8	93.8	92.5	92.5	93.5	95.0
地域子育て支援拠点事業の利用者数	人/年	6,534	6,178	7,510	8,142	8,440	9,564	5,199
全国学力・学習状況調査結果		全国平均以下	未実施	小：全国平均以上 中：全国平均以下	全国平均以下	全国平均以下	全国平均以下	全国平均以上
英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生の割合	%	45.6	49.4	50.0	41.8	38.3	46.7	50.0

4. 進捗状況の分析
<p>本市の「合計特殊出生率」については年々減少傾向にあるが、それでも全国及び県内平均は上回っている状況である。生産年齢人口の減少にはなかなか歯止めがかからず、令和4年にやや増加した出生数も、令和5年に引き続き令和6年も減少となった。社会増減数については、目標値を上回っているものの、10代後半～30代までの転出が大きくなっている。若年層の地元定着を図るためにも、安心して子育てできる包括的な支援・環境整備について、今後も継続して推進していく必要がある。</p> <p>「学校教育活動に対する評価（4段階評価）」は、基準値の3.5で推移している。ICT機器や遠隔教育システムの活用が定着してきており、引き続き、GIGAスクール構想に沿った教育環境の発展が図られている。</p> <p>小・中学生共に「全国学力・学習状況調査結果」が全国平均を下回っており、学力の向上がさらに求められている。</p>

5. 今後の方針
<p>子育て支援体制や教育環境の充実、移住や定住を検討する際の重要なポイントでもあり、また、人口減少対策への直接的な影響も大きいことから、今後も継続して力を入れていく必要がある。</p> <p>子育て支援体制については、核家族化や共働き世帯の増加といった社会構造の変化に伴い、子育て世帯のニーズはさらに多様化している。今後、子育て支援拠点施設の拡充に加え、引き続き妊娠・出産から子育てまでを包括的にサポートする環境づくりを進めていく。</p> <p>教育環境については、小・中学校の児童、生徒1人1台の学習用タブレット端末が整備された。今後はソフトウェアやネット回線の充実など、個別最適な学びと協働的な学びを支えるICT環境をさらに充実していく。また、引き続きグローバルな人材を育成するため、英語への興味や関心を持ち異文化への理解を深められる教育環境づくりを進めていく。</p>

1. 各方策の実施状況	
基本目標	3. 子育て支援 ～ひとをそだてるプロジェクト～
方策名	ア) 妊娠・出産・育児への切れ目ない支援
方策の概要	多様化する市民の保育ニーズに対応するために、子育て支援サービスの更なる充実を推進します。
	就学前児童の相談窓口を一本化し、子ども・子育て支援のトータルコーディネートを行います。
	子育て世帯の様々な不安や悩みを解消するために、相談支援体制や各種施設の充実を図ります。
	各種健診事業や相談事業等を実施し、安心して子どもを産み、育てることができる環境づくりを行います。

2. 実施した主な事業一覧					
No.	事業名	所管課	事業開始年度	所管課評価	ページ
1	地域子ども・子育て支援事業（地域子育て支援拠点事業）	こども未来課	平成19年度	拡大	48
2	不妊治療支援事業	こども未来課	令和6年度	継続	49
3	安心出産支援事業	こども未来課	平成20年度	拡大	50
4	子育て世代包括支援事業	こども未来課	平成30年度	継続	51
5	産前産後支援事業	こども未来課	令和3年度	継続	52

事業評価シート

事業名	地域子ども・子育て支援事業（地域子育て支援拠点事業）						担当課	こども未来課			
予算科目	3 款	2 項	1 目	総合計画施策体系	2	1	1	1	実施年度	平成19年度～	

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費	20,247	22,723	22,881	23,052	23,826	24,012
国県支出金	13,498	15,148	15,254	15,838	16,008	16,008
地方債						
その他						
一般財源	6,749	7,575	7,627	7,214	7,818	8,004

事業の目的及び内容（PLAN）
<p>【事業目的】 家庭や地域における子育て機能の低下及び子育て中の親の孤独感や不安感の増大等に対応するため、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。</p> <p>【事業内容】 子育て支援拠点施設における、保健師相談・読み聞かせ・親育ち講座などの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平戸地区：あいちゃん広場（愛の園保育所内） 週5日（月～金） 10：00～15：00 ・田平地区：トコトコ（福祉保健センター内） 週5日（火～土） 10：30～16：00 ・紐差地区：トコトコ in 紐差（ふれあいセンター内） 週1日（金） 10：00～15：00 ・津吉地区：トコトコ in 津吉（多目的研修センター内） 週1日（水） 10：00～15：00 ・生月地区：トコトコ in 生月（生月町中央公民館内） 週1日（木） 10：00～15：00 ・度島地区：トコトコ in 度島（ふれ愛センター度島内） 週1日（水） 10：00～15：00

事業の実施状況（DO）
<p>利用人数（延べ数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平戸地区：あいちゃん広場（愛の園保育所内） 保護者 918人 子ども 1,082人 ・田平地区：トコトコ（福祉保健センター内） 保護者 2,864人 子ども 3,330人 ・紐差地区：トコトコ in 紐差（ふれあいセンター内） 保護者 133人 子ども 123人 ・津吉地区：トコトコ in 津吉（多目的研修センター内） 保護者 144人 子ども 136人 ・生月地区：トコトコ in 生月（生月町中央公民館内） 保護者 229人 子ども 271人 ・度島地区：トコトコ in 度島（ふれ愛センター度島内） 保護者 137人 子ども 197人 <p style="text-align: right;">合計 保護者 4,425人 子ども 5,139人</p>

事業実施による成果（CHECK）							
<p>子育て中の親子が気軽に集い、交流や育児相談ができる場を提供することにより、親の孤立感や負担感の解消を図ることができた。</p>							
本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 拠点施設の数	箇所	5	6	6	6	6	積上
② 利用者数	人	6,178	7,510	8,142	8,440	9,564	年度

事業の改善（ACTION）	
<p>事業実施に係る課題及び改善点</p>	<p>大島地区においては唯一開設が無かった地区であるが、トコトコ及び地元有志（母親ら）が令和8年度からの開設に向けて準備を進めているため、本市としても運営費補助や地元機運醸成を通じて支援していく。</p>
<p>今後の方針</p>	<p style="text-align: center;">A A拡大 B縮小 C統合 D廃止・休止 E事業完了 F改善・見直し G継続</p>

事業評価シート

事業名	不妊治療支援事業							担当課	こども未来課	
予算科目	4 款	1 項	1 目	総合計画施策体系	3	1	1	3	実施年度	令和6年度～

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費					724	3,205
国県支出金						
地方債						
その他					700	3,200
一般財源					24	5

事業の目的及び内容（PLAN）

【事業目的】

不育症治療、生殖補助医療（先進医療を含む）にかかる治療費の一部を助成し経済的負担を軽減することで、安心して子どもを出産できる環境づくりを図り、出生率の向上につなげることを目的とする。

【事業内容】

不育症治療、生殖補助医療にかかる治療費の自己負担分について、次のとおり助成する。

- ・不育症治療：1回につき上限100千円
 - ・生殖補助医療：1回につき上限100千円
 - ・先進医療：生殖補助医療と併せて先進医療を行った場合、上限200千円
- ※県の助成を受けた場合は、対象となる治療費から長崎県不育症検査費用助成事業、長崎県不妊治療費助成事業での支給決定額を除いた額が助成対象

事業の実施状況（DO）

助成件数（助成金額）

- 1 不育症治療：0件（0円）
- 2 生殖補助医療：8件（616千円）
- 3 先進医療：5件（108千円）

事業実施による成果（CHECK）

妊娠、出産を望みながらも不育症治療・生殖補助医療を要する市民の経済的負担を軽減することで、安心して子どもを妊娠、出産できる環境づくりを図ることができた。

また、治療を継続した結果、妊娠・出産したケースもあり、事業目的である出生率の向上にも寄与することができた。

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 助成件数	件					13	年度
② 助成対象者の出産数	人					5	年度

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	今後も、不妊治療等を希望する方が事業を活用いただけるよう、さらに周知を図る必要がある。							
今後の方針	G	A 拡大	B 縮小	C 統合	D 廃止・休止	E 事業完了	F 改善・見直し	G 継続

事業評価シート

事業名	安心出産支援事業						担当課	こども未来課			
予算科目	4款	1項	1目	総合計画施策体系	3	1	1	2	実施年度	平成20年度～	

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費	4,425	4,450	4,075	3,750	3,175	9,974
国県支出金						1,332
地方債						
その他	4,425	4,450	4,075	3,750	3,175	8,642
一般財源						

事業の目的及び内容（PLAN）
<p>【事業目的】 平戸市内に産婦人科が無いため、市内の妊婦を対象に妊婦健康診査にかかる交通費等の一部を助成することで、出産にかかる経済的負担の軽減を図ることを目的とする。併せて、母子の経過確認に必要な超音波検査にかかる費用の一部を助成することで受診率向上を促し母子の適切な健康管理に資することを目的とする。</p> <p>【事業内容】 妊婦健康診査にかかる交通費等及び超音波検査にかかる費用の一部助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 離島以外の地域 出産助成金15千円＋超音波検査料10千円 ・ 離島地域 出産助成金40千円＋超音波検査料10千円

事業の実施状況（DO）
<p>妊娠届（母子健康手帳交付）時に申請を受理し、初回妊婦健康診査受診を確認後、離島地域および離島以外地域の要件で助成金を支払った。</p> <p>1 妊娠届出数 117人 2 助成件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 離島以外の地域：119件 2,975千円 ・ 離島地域：4件 200千円

事業実施による成果（CHECK）							
<p>妊婦健康診査、出産にかかる費用負担の軽減が図られたことにより、定期的な受診及び健康管理が促された。 また、受診結果により必要な保健指導を行うことで、妊娠・出産までの妊婦の心身の安定に寄与した（妊婦健康診査受診件数：延べ1,394件）。 医療機関によっては、妊婦と相談の上で受診間隔を調整していることがあるため、すべて受診とはなっていないものの、定期的受診による健康管理を実施した。</p>							
本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 助成件数	件	165	171	152	143	123	年度
② 妊婦健康診査受診率	%	94.9	94.0	89.9	90.0	92.0	年度

事業の改善（ACTION）	
事業実施に係る課題及び改善点	妊産婦の定期的受診及び母子の健康管理をさらに促進するため、妊婦健康診査時の交通費及び検査料等の助成額の見直しを行う。 また、経済的負担を軽減し、安全・安心な出産ができる環境をつくるため、分娩時にかかる交通費及び宿泊費の助成を行う。
今後の方針	A A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続

事業評価シート

事業名	子育て世代包括支援事業							担当課	こども未来課	
予算科目	4款	1項	1目	総合計画施策体系	3	1	1	2	実施年度	平成30年度～

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費	12,532	9,264	8,401	9,679	15,553	24,108
国県支出金	7,568	6,498	5,954	7,645	11,247	17,342
地方債						
その他	137	18	113	14	32	65
一般財源	4,827	2,748	2,334	2,020	4,274	6,701

事業の目的及び内容（PLAN）

【事業目的】

令和6年度から「こども家庭センター」を設置し、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもに対し、母子保健・児童福祉の両機能が連携・協働して一体的に相談支援を行い、虐待への予防的な対応から子育てに困難を抱える家庭まで、切れ目なく、漏れなく対応することを目的とする。

【事業内容】

健康管理のための保健指導や母親が抱える不安や負担を軽減するために次の事業を行う。

- ・乳児家庭全戸訪問 : 生後4か月までの乳児がいる家庭への家庭訪問
- ・養育支援訪問（専門的相談支援） : 産後うつ病兆候者、育児不安者などの継続的支援が必要な家庭を対象とした訪問
- ・子育て世帯訪問支援（育児・家事支援） : 家事・子育て等に不安や負担を抱える家庭等を対象に、悩みの傾聴や家事・子育ての支援を行い養育環境を整える、訪問支援員の訪問（令和6年度開始）
- ・未熟児訪問指導 : 養育医療（未熟児による入院）の対象者に対する退院後の指導・支援を目的とした家庭訪問
- ・利用者支援事業（こども家庭センター型） : 母子保健コーディネーター等の専門職を配置し、妊産婦・乳幼児、18歳までのすべての子どもとその保護者等を対象に継続的・包括的な支援を行うための「こども家庭センター」の運営
- ・利用者支援事業（基本型） : 子育て家庭の身近な場所における相談窓口として、子育て支援専門研修を受講した者を配置し、当事者目線の寄り添い型の支援を実施

事業の実施状況（DO）

- 1 乳児家庭全戸訪問 : 134世帯（対象134世帯）
- 2 養育支援訪問（専門的相談支援） : 187件
- 3 子育て世帯訪問支援（育児・家事支援） : 58件
- 4 未熟児訪問指導 : 延べ14件
- 5 利用者支援事業（こども家庭センター型） : 延べ1,069人
- 6 利用者支援事業（基本型） : 延べ1,147人

事業実施による成果（CHECK）

利用者支援事業によるこども家庭センターや身近な相談窓口の整備により、全ての妊産婦・子育て家庭について包括的に把握し、相談対応・家庭訪問・関係機関との連携などのきめ細やかな支援を提供することで、子育てに対する不安や負担感の軽減に寄与した。

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 乳児家庭全戸訪問世帯数	世帯	173	137	137	139	134	年度
② 養育支援訪問件数（専門的相談支援）	件	97	90	145	134	187	年度
③ 利用者支援事業（こども家庭センター型）利用者数	人		887	886	963	1,069	年度

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点

こども家庭センターにおいて、サポートプランの作成や合同ケース会議での情報共有、統括支援員による調整をより効果的に行い、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもに対し、母子保健・児童福祉の機能が連携した一体的な支援の充実を図る必要がある。

今後の方針

G

A拡大 B縮小 C統合 D廃止・休止 E事業完了 F改善・見直し G継続

事業評価シート

事業名	産前産後支援事業							担当課	こども未来課	
予算科目	4款	1項	1目	総合計画施策体系	3	1	1	2	実施年度	令和3年度～

事業費(千円)	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費		3,628	3,890	4,300	4,883	6,631
国県支出金		1,405	1,448	1,716	1,873	2,345
地方債						
その他		317	355	305	367	615
一般財源		1,906	2,087	2,279	2,643	3,671

事業の目的及び内容 (PLAN)

<p>【事業目的】 出産準備のための教室や出産後早期からの訪問支援、産後ケアを行うことにより母親が抱える不安や負担感の軽減を図る。また、妊娠・出産・子育ての悩みを傾聴し、寄り添い型の相談支援を行う。</p> <p>【事業内容】 妊産婦及び乳幼児の支援のため次の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産後ケア事業 : 生後1年未満の乳児と母親を対象とした、助産師による訪問、指定産院等によるデイサービス及びショートステイサービス(令和6年度からは、生活保護世帯・市民税非課税世帯は全てのサービスの利用料自己負担無料) ・産前産後サポート事業 : 精神的に不安定な妊産婦等に対する育児サポーターによる相談や訪問 ・妊婦・母子健康相談 : 妊婦及び子育て期の親子を対象とした健康相談 ・母乳育児支援事業 : 助産師による母乳育児に関する相談や訪問 ・パパママ教室 : 出産を控えた夫婦を対象とした出産・子育てに関する教室(NPO法人しあわせの木に委託) ・おひさまネット : 妊娠・出産・育児・予防接種に関する記録や地域の子育て情報の収集ができる電子母子手帳アプリ

事業の実施状況 (DO)

1 産後ケア事業	: 延べ 74件 (①訪問ケア 25件、②デイサービス3時間 13件、③デイサービス7時間 22件、④ショートステイ1泊2日 12件 ⑤ショートステイ 2泊3日 2件)
2 産前産後サポート事業	: 延べ 639件
3 妊婦・母子健康相談	: 延べ 105人
4 母乳育児支援事業	: 来所相談者 24人、訪問 7人
5 パパママ教室	: 延べ参加者数 52人 (内、男性参加者数19人)
6 おひさまネット	: 登録数 511件

事業実施による成果 (CHECK)

妊娠中からの出産に向けた準備や産後の母親の体調管理、子育てに関する相談支援を継続的に行うことで、妊産婦が自ら健康管理に努めるとともに不安や負担感の軽減に寄与した。
 令和6年度は、パパママ教室をNPO法人しあわせの木に委託をして開催した。市担当課窓口以外に加えて、委託先から子育てひろば利用者やSNS等での周知等も奏功し参加者が増加した。

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 産後ケア事業利用件数	件		102	50	49	74	年度
② 産前産後サポート事業利用件数	件		266	672	750	639	年度

事業の改善 (ACTION)

事業実施に係る課題及び改善点	<p>令和6年9月～12月に実施した産後ケア事業に関する調査では、利用した人の100%が「今後も利用したい」との回答であった。一方、事業を知っていたが利用しなかった人の理由は「家族の支援で十分」が64%で、他の意見は、「産院が遠い」、「どんなケアがあるかわからなかった」、「費用が高い」等であった。</p> <p>産後ケア事業(ショートステイを除く)については、調査結果を踏まえ、課税非課税・生活保護の区別なく、全ての産婦が適切な時期に必要なケアが受けられるよう、利用料のうちの自己負担の無料化及びさらなる制度周知に取り組む必要がある。</p>						
今後の方針	G	A拡大 B縮小 C統合 D廃止・休止 E事業完了 F改善・見直し G継続					

1. 各方策の実施状況	
基本目標	3. 子育て支援 ～ひとをそだてるプロジェクト～
方策名	イ) 教育環境の整備
方策の概要	教育や就学の悩みを解消するために、相談支援体制の整備を推進します。
	ICT教育や英語教育について市独自の取組みを行い、実践的な学習を充実させることにより、学校教育の充実を図ります。
	平戸市で生活する子どもたちが、故郷を愛する心を育むことができるよう、地域と連携・密着した体験活動を推進します。
	国際的な人材を育成するため、英語に焦点化した教育環境（イングリッシュ・タウン）をつくり、子どもたちへの語学教育を推進します。

2. 実施した主な事業一覧					
No.	事業名	所管課	事業開始年度	所管課評価	ページ
1	ICT教育推進事業	学校教育課 教育総務課	平成27年度	継続	55
2	イングリッシュ・タウン事業	学校教育課 教育総務課	平成28年度	継続	56

事業評価シート

事業名	ICT教育推進事業						担当課	学校教育課、教育総務課		
予算科目	10款	2,3項	2目	総合計画施策体系	2	2	5	6	実施年度	平成27年度～

事業費(千円)	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費	6,815	17,561	18,168	29,830	20,653	41,404
国県支出金		3,040	792	3,419	2,308	3,666
地方債						
その他	6,815	14,521	17,376	23,350	14,924	34,450
一般財源				3,061	3,421	3,288

事業の目的及び内容 (PLAN)

【事業目的】

学校、児童生徒の実態に応じたICT教育環境の整備を図り、ICTを学びのツールとして活用することで、児童生徒の理解力向上及び教職員の教材研究や授業準備の効率化、ICT活用指導力向上を図ることを目的とする。

【事業内容】

- ・児童生徒が授業内容への興味や関心を高め理解を深めるために、小学校は3教科、中学校は5教科においてデジタル教科書(指導用)を活用する。
- ・児童生徒への効果的な個別指導に活用するため、クラウド型学習教材を活用する。
- ・国の指針に基づき、小中学校のICT教育環境を支援するため、GIGAスクール運営支援センターを設置・運営する。

事業の実施状況 (DO)

- 1 デジタル教科書(指導用)の活用
 - ・小学校3教科:算数(1～6年)、理科(3～6年)、社会(5～6年)
 - ・中学校5教科:国語、数学、理科、社会、英語(1～3年)
- 2 クラウド型学習教材の活用
 - ・全小学校にクラウド型学習教材を導入し、その活用研修を行った。
 - ・全小中学校で、学習ドリル機能に限定したクラウド型学習教材(AI含む)を活用した。
- 3 GIGAスクール運営支援センターの活用
 - ・小中学校においてICT機器を活用した授業等を円滑に進めるため、ICT環境整備の支援を行った。
 - ・教職員のICT活用能力の向上のため、連携を図りながら研修会を実施した。

事業実施による成果 (CHECK)

- 1 デジタル教科書(指導用)については、小学校では3教科、中学校では5教科において、教科書の補足資料の提示や動画鑑賞などに活用することができた。
- 2 児童・生徒が主体的に学習に取り組むため、クラウド型学習教材である協働学習型アプリケーションを活用しながら課題解決を図った。その際、自分と他者の考えを比較し、課題解決のための情報を取捨選択しながら自己指導能力の育成につながった。
- 3 GIGAスクール運営支援センターについては、ICT機器の設定変更や市ICT操作研修会、年次更新作業等で活用し、教職員の業務効率化につながった。また、クラウド型学習教材については積極的な利活用を目的とし、内容の焦点化を行うことで研修の充実につながった。
- 4 市ICT研修会だけでなく、各学校においても校内研修等でICTについての研修を行い、その成果として、授業にICTを活用して指導できる教職員の割合は、87.5%と昨年度から2.7ポイント上昇した。

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 授業にICTを活用して指導できる教職員の割合	%	69.3	77.1	80.9	84.8	87.5	年度

事業の改善 (ACTION)

事業実施に係る課題及び改善点

平戸市内の教職員のICT活用能力は、「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」の結果から全国と比較しても同程度以上である。
 しかし、ICT機器を活用する教員は、二極化傾向にあるため、計画的な研修によって全ての教員のICT活用能力を高める必要があり、今後もGIGAスクール運営支援センターを活用し、業務効率化に努めていくとともに、教職員のICT活用指導力の向上を図っていきたい。

今後の方針

G A拡大 B縮小 C統合 D廃止・休止 E事業完了 F改善・見直し G継続

事業評価シート

事業名	イングリッシュ・タウン事業						担当課	学校教育課、教育総務課		
予算科目	10 款	3 項	2 目	総合計画施策体系	2	2	5	3	実施年度	平成28年度～

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費	1,993	2,394	2,053	3,284	3,633	4,512
国県支出金						
地方債						
その他	1,993	2,394	2,053	3,259	3,603	4,449
一般財源				25	30	63

事業の目的及び内容（PLAN）

【事業目的】

小中学生を対象に英語活用の場を提供することによって、英語への関心を高め、英語による表現力及びコミュニケーション能力の向上を図る機会とし、併せて言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮する態度を養うことによって、国際観光都市平戸の将来を担う子どもの育成を目的とする。

【事業内容】

- ・小中学生の英語による表現力の向上を図るため、イングリッシュスピーチコンテストを開催する。
- ・小中学生を対象に、生きた英語に親しみ、興味・関心を高めるための1泊2日の体験活動として、イングリッシュキャンプを開催する。
- ・小中学生を対象として、英語力の積極的向上を支援するための英語検定料助成を行う。

事業の実施状況（DO）

- 1 イングリッシュスピーチコンテスト事業
 - ・10月26日（土）に開催し、市内全中学校から12人が出場した。最優秀賞を受賞した生徒は、長崎県イングリッシュスピーチコンテストに市代表として出場した。
 - ・小学生の部では、市内3小学校から4人の応募があり、動画審査により1人を選出し、本コンテストで発表及び上記県コンテストに市代表として出場した。
- 2 イングリッシュキャンプ事業
 - ・小学生 7月23日（火）・24日（水）参加者40人
 - ・中学生 7月25日（木）・26日（金）参加者39人
- 3 英語検定料助成事業
 - 小中学生を対象に英語検定の各級検定料を年1回助成し、小学生を対象に「英検J r.」を2回開催した。

事業実施による成果（CHECK）

- 1 イングリッシュスピーチコンテスト事業では、作成、練習時からALTを活用し、児童生徒の英語表現力の向上や正しい発音の習得に寄与することができた。スピーチのテーマについては、県大会と同じにすることで、市大会を県大会へつなげている。
- 2 イングリッシュキャンプ事業は、日本と外国の文化の違いなどをテーマとした講演や、ALTやCIRとのコミュニケーションを通して異文化理解を深め、英語に親しむ環境を提供することができた。
- 3 英語検定料助成事業は、延べ313人（小学生5人、中学生308人）の検定料負担を軽減し、準会場となる各中学校の協力により、受検しやすい環境を作ることができた。
また、英検J r.については、延べ25人が受検し、小学生が英語への親しみや興味・関心を持つきっかけを作るとともに、英語検定への受検へつなげることでできた。

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① キャンプ事業の参加者数	人	21	39	51	78	79	年度
② 検定料助成事業の助成延べ人数	人	293	340	255	330	313	年度
③ 英検J r. 受験者延べ人数	人	34	45	42	34	25	年度

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	英語検定料助成事業のうち小学生を対象とした英検J r.について、年2回の開催を継続することで、小学生の英語への興味・関心を高め、学校、保護者への周知を行うとともに、上級グレード受験者の増加及び英語検定受験につなげる必要がある。 イングリッシュキャンプ事業については、参加を希望する児童・生徒の固定化が見られることから、より多くの児童・生徒や保護者に興味・関心を持ってもらうよう、平戸市のLINE通知による周知や支援が必要な児童生徒も参加できる活動を取り入れるなど、より充実した事業を目指していく。					
今後の方針	G	A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続				

平戸市総合戦略 個別施策の進捗状況（令和6年度実施）

1. 基本的事項	
基本目標	4. 定住・移住の促進 ～まちをつくるプロジェクト～
目標を達成するための 方策	ア) 移住の受入推進
	イ) 魅力あるまちづくり

2. 数値目標								
数値目標	単位	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
社会増減数	人/年	△ 223	△ 193	△ 152	△ 131	△ 182	△ 216	△ 163
市外からの移住世帯数	世帯/年	63	40	54	53	55	51	50

3. KPI（重要業績評価指標）								
KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
空き家バンク登録数	件	99	128	140	152	173	193	160
移住相談件数	件/年	132	194	146	175	249	274	150
まちづくり運営協議会に対する支援回数	回/団体	25	16	13	56	55	46	28
これからも平戸市に住み続けたいと思う人の割合（市民アンケート）	%/年	47.2	55.4	49.0	50.9	43.6	55.5	60.0

4. 進捗状況の分析
<p>人口ビジョンに大きな影響を与える社会増減数については、転入者数の増加が見られたもののそれを上回って転出者数も増加しており、転出超過が依然として続いている状況にある。</p> <p>「市外からの移住世帯数」は例年並みではあるが、「空き家バンク登録数」及びオンラインを含めた「移住相談件数」は増加してきており、目標値を大きく超えている。都市部から地方への移住の関心が高いことから、2040年の社会増減均衡に向け、今後も継続的に移住希望者へのきめ細やかなサポートを行うとともに、市内高校や企業等と連携し、地域や地場企業に対する生徒の理解を深め、若年層の地元定着に向けて注力していく必要がある。</p>

5. 今後の方針
<p>定住・移住の推進については、年々高まる都市部から地方への移住志向を踏まえ、移住者や企業のニーズを把握し、居住環境や地域生活環境の向上・雇用機会の確保を推進していく。</p> <p>また、市民自らが地元の魅力ある地域資源を知り、広く情報発信することが重要であるため、平戸学の推進をはじめ、市内全域に設置したまちづくり運営協議会や市内各種団体の協力を得ながら、今後もシビックプライドの醸成に向けた取り組みを行う。</p>

1. 各方策の実施状況	
基本目標	4. 定住・移住の促進 ～まちをつくるプロジェクト～
方策名	ア) 移住の受入推進
方策の概要	Uターン・Iターン希望者等に、移住先として平戸市を選んでもらえるよう、受け入れ体制の整備や様々な支援策の充実を図ります。
	空き家バンク制度の周知を図ることにより、登録件数を増やし住まい選びについてU Iターナーの選択肢が広がるよう取り組みます。
	平戸市への定住・移住に関する情報発信を行うほか、移住相談体制の充実を図ります。
	全国主要都市で開催されている移住相談会に積極的に参加し、移住者の誘致に取り組みます。

2. 実施した主な事業一覧					
No.	事業名	所管課	事業開始年度	所管課評価	ページ
1	移住定住環境整備事業	企画課	平成27年度	継続	60
2	定住促進対策事業	企画課	平成18年度	継続	61

事業評価シート

事業名	移住定住環境整備事業						担当課	企画課		
予算科目	2 款	1 項	11 目	総合計画施策体系	4	1	1	1	実施年度	平成27年度 ~

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費	33,075	44,209	43,282	49,749	30,670	53,060
国県支出金		750	2,317	2,852	2,640	5,378
地方債						
その他	29,143	39,124	37,137	46,897	28,030	47,682
一般財源	3,932	4,335	3,828			

事業の目的及び内容（PLAN）

【事業目的】

本市に移住・定住しようとする者を対象に支援を行い、人口減少の抑制を図ることを目的とする。

【事業内容】

- ・移住定住環境整備事業補助金
転入者及び市内在住者の住宅取得、中古住宅の改修（1/2以内・限度額500千円）及び移住費用に対する支援（2/3以内・限度額200千円）
- ・結婚新生活支援事業補助金
転入者及び市内在住者の新規賃貸住宅にかかる経費及び住宅の改修費用に対する支援
- ・その他支援事業
親子でスマイル住宅支援事業補助金、移住支援金

事業の実施状況（DO）

- 1 移住定住環境整備事業補助金
 - ・新規転入者支援：58件 23,215千円
 - ・市内在住者支援：6件 2,900千円
 - 合計：64件 26,115千円
- 2 結婚新生活支援事業補助金
 - ・新規転入者支援：8件 3,591千円
 - ・市内在住者支援：2件 964千円
 - 合計：10件 4,555千円
- 3 その他支援事業
 - ・実績なし

事業実施による成果（CHECK）

令和6年度の移住者数は、前年度と比較して若干の減少となったものの、継続的かつ計画的に移住・定住に向けた支援制度の整備・充実を図ってきたことにより、一定数の移住者の受け入れの維持及び移住に係る経済的負担の軽減につなげることができた。

また、若年夫婦・子育て世帯を対象とした結婚新生活支援事業により、本市への定住促進を図ることができた。

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① UIターン者の人数	人	86	112	112	103	94	年度
② 空き家バンク物件登録	件	15	12	12	21	20	年度

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点

本事業については、制度の活用を通じて一定の成果を上げているものの、依然として社会減が進行している状況にある。今後は、補助制度の見直しを進めながら、独自性のある補助メニューや効果的な事業展開に向けて分析及び検討を行っていくとともに、制度周知について引き続き積極的に行うことで、本市への移住・定住の促進につなげていく。

今後の方針

G A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続

事業評価シート

事業名	定住促進対策事業							担当課	企画課	
予算科目	2款	1項	11目	総合計画施策体系	4	1	1	1	実施年度	平成18年度～

事業費(千円)	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費	1,523	1,674	1,654	7,257	6,478	7,437
国県支出金	294	340	449	463	427	434
地方債						
その他				1,527	18	2,084
一般財源	1,229	1,334	1,205	5,267	6,033	4,919

事業の目的及び内容 (PLAN)

【事業目的】

UIターン者に対する移住・定住の促進を図り、本市の人口減少の抑制等を目的とする。
また、移住希望者と空き家とのマッチングを図るため、空き家バンク制度への登録推進を行うとともに、移住希望者に平戸での生活を体験できる「お試し住宅」の提供を行う。

【事業内容】

- ・ 移住相談窓口の設置
- ・ 県及び西九州させば広域都市圏と連携した移住相談会の実施
- ・ 市ホームページ等による定住関連情報の発信
- ・ お試し住宅の運用

事業の実施状況 (DO)

- 1 移住相談件数(訪問・電話・メール・オンライン) : 274件
- 2 相談会
 - ・ オンラインによる相談会 : 4回 6組・8人
 - ・ 対面による相談会 : 3回 11組・17人
- 3 空き家バンク制度
 - ・ 物件登録 : 20件、交渉成立数 : 13件(累計 : 113件)
- 4 お試し住宅の利用実績
 - ・ 薄香物件 : 6件・9人・140日利用
 - ・ 新町物件 : 7件・19人・110日利用

事業実施による成果 (CHECK)

これまでの移住施策の実施等による効果もあり、令和6年度の相談件数は274件で昨年度よりも25件増加した。
また、県移住サポートセンター主催の移住相談会、市農業振興課と連携した就農・移住相談会など対面での相談受付により、相談内容に応じて細やかな情報提供を行うことができた。
お試し住宅については、これまでの利用者のうち令和6年度中に本市に移住したのは5世帯10人であった。

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① UIターン者の人数	人	86	112	112	103	94	年度
② 移住相談件数	件	194	146	175	249	274	年度
③ お試し住宅利用者の移住実績	人	4	10	6	1	10	年度

事業の改善 (ACTION)

事業実施に係る課題及び改善点

引き続き、対面・オンラインでの移住相談会に参加するとともに、移住希望者に対しスムーズに情報が届くよう、ホームページやSNS等による情報発信の強化に努めていく。
また、西九州させば広域都市圏においても、都心部等を中心とした情報発信を連携して行っていく。

今後の方針

G A拡大 B縮小 C統合 D廃止・休止 E事業完了 F改善・見直し G継続

1. 各方策の実施状況	
基本目標	4. 定住・移住の促進 ～まちをつくるプロジェクト～
方策名	イ) 魅力あるまちづくり
方策の概要	行政と地域が連携して、様々な地域課題の解決に向けた取組みを協働して行うとともに、持続可能な集落形成に向けた仕組みづくりを行います。
	地域資源を知る機会を増やし郷土愛を育むことにより、若者の定住やUターンを促します。また、市民活動の活性化による交流人口の増加を図ることにより、活気に溢れたまちづくりを行います。
	市内の高等学校や地域、地場企業が連携した「ふるさと教育」や「キャリア教育」を通じて、地域や地場企業に対する生徒の理解と愛着を深め、地域を担う多様な人材の育成に取り組めます。
	若い世代からの健康意識の高揚を図り、各種健（検）診の受診率向上及び食育等の取組みによる生涯を通じた健康づくりを推進します。
	地域医療を担う人材の確保に取り組むとともに、関係医療機関の連携による救急医療体制の確保を図り、市民が安全で安心して暮らせるよう安定的かつ持続可能な医療提供体制の構築に取り組めます。
	健康づくりや介護予防の推進を図り、元気な高齢者の増加に取り組めます。また、高齢者が、可能な限り住み慣れた地域で自分らしく生活することができるように、地域包括ケアシステムの構築を目指します。
	市外の人との交流促進に関する事業を行い、結婚対策に関する取組みを推進します。
	平戸市の豊かな自然環境の保全に関する取組みを充実します。また、自然環境の保全に関する住民の意識の向上に努めます。
	多様な交通手段の確保を行い、日常生活について誰もが利便性を感じるまちづくりを行います。
	豊かな自然や歴史文化遺産、伝統文化等を大切にす郷土愛を育むため、平戸学を推進します。
シティプロモーションの推進により、市民と行政、民間が一体となって平戸市の地域資源を市内外に発信することで、シビックプライドの醸成と「平戸ファン」のさらなる獲得を目指します。	
人口減少をはじめとする地域課題を解決するため、ICT、IoT等の未来技術の活用を検討・推進します。	

2. 実施した主な事業一覧					
No.	事業名	所管課	事業開始年度	所管課評価	ページ
1	コミュニティ推進事業	企画課	平成18年度	継続	64
2	平戸学推進事業	文化交流課	令和3年度	継続	65
3	国民文化祭開催事業	文化交流課	令和4年度	拡大	66
4	アーティストまちなかレジデンス事業	文化交流課	令和6年度	継続	67

事業評価シート

事業名	コミュニティ推進事業						担当課	企画課		
予算科目	2款	1項	11目	総合計画施策体系	0	1	2	1	実施年度	平成18年度～

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費	163,333	173,948	177,015	169,790	185,012	187,187
国県支出金						
地方債	69,900	86,600	97,100	93,100	80,700	65,700
その他	580	586	617	693	295	305
一般財源	92,853	86,762	79,298	75,997	104,017	121,182

事業の目的及び内容（PLAN）

<p>【事業目的】 平戸市総合計画の共通プロジェクトである「きずなをつなぐプロジェクト（協働、地域コミュニティ、シビックプライド）」を推進するため、地域住民が一体となり市民自らが考え実践し、地域課題の解決に取り組む「新しいコミュニティ」の構築及び「まちづくり運営協議会」の運営支援を目的とする。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり運営協議会への集落支援員及び総合相談員の配置 ・コミュニティ推進モデル地域交付金（まちづくり交付金）の交付 ・まちづくり運営協議会の事務局運営や事業計画立案にかかる指導助言

事業の実施状況（DO）

<ol style="list-style-type: none"> 1 まちづくり運営協議会への集落支援員及び総合相談員の配置、総合相談員による指導助言 14地区に対し16人の集落支援員を配置した。 総合相談員5人（平戸中部地区、平戸南部地区、田平・生月地区、大島地区、度島地区）により対応した。 2 コミュニティ推進モデル地域交付金（まちづくり交付金）の交付 14地区に対し126,479千円のコミュニティ推進モデル地域交付金を交付した。 3 まちづくり運営協議会の事務局運営や事業計画立案にかかる指導助言 集落支援員及び事務局職員を対象にした連絡会議及び研修会を3回開催したほか、随時質問等への対応を行った。

事業実施による成果（CHECK）

<p>各まちづくり運営協議会は、コミュニティ推進モデル地域交付金を財源に、まちづくり計画に沿って地域課題の解決や地域コミュニティの活性化に関する事業を実施した。取り組む事業を皆で話し合っって実行していく中で、協働のまちづくりの意識が根付いてきた。</p>

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	人口減少時代を見据え、各まちづくり運営協議会がより効果的な交付金事業を企画・実施できるよう、集落支援員や事務局職員を対象にした人材育成に特に力を入れ、市と協働で持続可能な集落形成のあり方を検討していく体制を築く必要がある。
今後の方針	G A拡大 B縮小 C統合 D廃止・休止 E事業完了 F改善・見直し G継続

事業評価シート

事業名	平戸学推進事業						担当課	文化交流課			
予算科目	10 款	5 項	5 目	総合計画施策体系	5	2	1	1	実施年度	令和3年度～	

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費		1,497	4,804	2,942	3,863	4,058
国県支出金						
地方債						
その他		1,290	4,647	2,381	3,504	3,580
一般財源		207	157	561	359	478

事業の目的及び内容（PLAN）

<p>【事業目的】 平戸学講座や平戸紀要により市民が平戸の歴史・文化を理解し、郷土を愛する心を育む学習機会を提供するとともに、平戸学教育用教材動画やデジタルコンテンツなどで市民に広く情報発信することを通して、豊かな自然や歴史文化遺産、伝統文化に対する郷土愛を育む。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平戸学講座の開催 ・平戸紀要の刊行 ・平戸の地域資源を紹介する映像作成 ・SNSを活用した情報発信

事業の実施状況（DO）

<ol style="list-style-type: none"> 1 本市の歴史や文化、産業、自然などに関心を高め、理解を深めるため、北部公民館と連携し、歴史講座の講師として文化交流課職員5名による普及啓発（5回・67人） 2 鄭成功生誕400周年を記念した平戸紀要第12号の刊行 3 平戸固有の歴史や自然等における平戸学の動画コンテンツ制作（3本） 4 ドローンと360°カメラを用いた平戸の地域資源を紹介する映像制作（13本） 5 平戸学のInstagram等での投稿による情報発信（30回）

事業実施による成果（CHECK）

<p>平戸学講座の開催により、平戸の歴史や文化を学習する機会を提供するとともに、360°カメラで撮影した映像や動画コンテンツを公開することで、平戸の豊かな自然や歴史文化遺産の新たな魅力や価値を多くの人に発信し、市民の郷土愛醸成に寄与することができた。</p>							
本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 平戸学講座の開催数	回		5	5	4	5	年度
② 平戸学講座の参加人数	人		54	65	52	67	年度

事業の改善（ACTION）

<p>事業実施に係る課題及び改善点</p>	<p>平戸学講座や平戸学のSNSを通して平戸の歴史や文化の魅力を発信しているが、さらに効果的な周知方法を模索し、情報を発信していく必要がある。</p>
<p>今後の方針</p>	<p style="text-align: center;">G A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続</p>

事 業 評 価 シ ー ト

事業名	国民文化祭開催事業							担当課	文化交流課	
予算科目	10 款	5 項	6 目	総合計画施策体系	5	2	2	2	実施年度	令和4年度～

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費			2,046	1,274	4,446	36,418
国県支出金			493	750	750	14,496
地方債						
その他			1,058			21,812
一般財源			495	524	3,696	110

事業の目的及び内容（PLAN）

【事業目的】

令和7年度に開催される第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭の開催に向け、機運醸成と周知啓発を図り、普及・啓発事業の実施および円滑な運営のため、実行委員会、企画会議やいけばな部会などを開催し、本祭に向けた事前調整等を行うとともに、県実行委員会等各関係機関と連携し、各種事業の円滑な運営を図ることを目的とする。

【事業内容】

- ・普及啓発事業の実施
- ・第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭平戸市実行委員会、企画会議、いけばな部会等の開催
- ・平戸市の地域資源を活用したコンサートの開催

事業の実施状況（DO）

- 1 普及啓発事業の実施
 - ・いけばな体験教室（全12回 北部、中部、南部、生月、田平、大島地区の各公民館にて各2回）開催
 - ・スクールコンサート（全12校 平戸、田助、津吉、志々伎、野子、田平北、田平東、田平南、紐差、山田、大島、根獅子小学校）開催
- 2 第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭平戸市実行委員会、企画会議、いけばな部会等開催
 - ・5月24日 第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭平戸市実行委員会第2回総会開催
 - ・企画会議（3回 5月7日、12月18日、令和7年2月17日）及びいけばな部会（4回 4月15日、4月26日、12月18日、令和7年2月17日）開催
- 3 平戸市の地域資源を活用したコンサートの開催
 - ・島の館で和楽器とピアノのコンサート開催
 - ・カトリック宝亀教会での長崎OMURA室内合奏団によるコンサート開催

事業実施による成果（CHECK）

- 1 普及啓発事業の実施

令和7年度の国民文化祭の開催について、広く周知するとともに、いけばな体験教室により、市民のいけばなに親しむ機会の創出とスクールコンサートでプロの音楽に直接触れる機会ができたことで、児童の情操教育に貢献し、市民の文化振興の促進を図ることができた。
- 2 第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭平戸市実行委員会の開催等

令和7年度の開催に向け、必要な準備を進めることができた。
- 3 平戸の地域資源を活用したコンサートの開催

平戸の地域資源でプロの音楽を鑑賞することで、平戸の文化や地域資源の魅力を発信し機運醸成に寄与することができた。また、コンサートには幅広い世代の来場があり、交流促進にもつなげることができた。

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① コンサートの開催数	回			2	2	2	年度
② コンサートの入場者数	人			464	226	145	年度
③ 平戸市実行委員会等の開催	回				3	8	年度

事業の改善（ACTION）

事業実施に係る課題及び改善点	第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭の円滑な運営を図るため、本市で開催する全国大会である「いけばな」の関係団体をはじめ、各文化協会や小中学校、関係機関と連携し、事業を一層推進する必要がある。						
今後の方針	A	A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続					

事業評価シート

事業名	アーティストまちなかレジデンス事業							担当課	文化交流課	
予算科目	10 款	4 項	6 目	総合計画施策体系	5	2	2	2	実施年度	令和6年度～

事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費					4,745	3,000
国県支出金						1,500
地方債						
その他					4,745	1,500
一般財源						

事業の目的及び内容（PLAN）

<p>【事業目的】 旧平戸城下町の賑わい創出とアルベルゴ・ディフゾタウンの実現化を図るために、アーティスト（芸術・クリエイター）を招聘し、空き家や観光施設等において活動を進めることで、交流人口の拡大や観光まちづくりを進めることを目的とする。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーティストの招聘3名 ・アーティストによる空き家での制作発表 ・アーティストレジデンスWEEKの開催 ・制作ワークショップの開催

事業の実施状況（DO）

<p>参加アーティスト</p> <p>1 田村綾海：卵の殻を再利用して絵具を完成させ、参加者による絵具体験を行い、作品を制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示会場 按針の館2階 12月7日～28日 来場者 208人 ・ワークショップ会場 按針の館2階 12月14日、15日 参加者 26人 <p>2 長嶋祐成：魚拓アートを参加者と制作、巨大なシーラを完成させ、現在も平戸観光協会（案内所）に展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示会場 平戸城見奏檣1階 12月7日～28日 来場者1,021人 ・ワークショップ会場 按針の館2階 12月7日、8日 参加者 35人 <p>3 陳飛豪（チンフィハオ）：写真や動画を活用したワークショップ、岡部千枝氏の能楽と陳氏の映像に合わせて実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示会場 平戸城見奏檣2階 12月7日～28日 来場者1,021人 ・ワークショップ会場 オランダ商館2階 12月1日～令和7年1月5日 来場者 133人 ・ワークショップ会場 オランダ商館2階 12月21日 参加者 12人

事業実施による成果（CHECK）

<p>アーティスト（芸術・クリエイター）を招聘し、廃材や産業廃棄物を画材の材料に用いた作品制作に加え、参加者一丸となって大きな作品を作成するワークショップ等の開催を通じて、来場者の充実感の向上を図ることができた。</p> <p>また、展示会はカステライエローイマーシブと開催期間を合わせ実施し、旧平戸城下町の賑わいの醸成を図ることにより、アルベルゴ・ディフゾタウンの実現化に寄与することができた。</p>

本事業の数値的成果	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度/積上
① 展示（按針の館、平戸城見奏檣、オランダ商館）	人					3,362	年度
② ワークショップ	人					73	年度

事業の改善（ACTION）

<p>事業実施に係る課題及び改善点</p> <p>展示、ワークショップともに素晴らしい内容であったが、空き家の借上げについては、所有者の年単位での貸付希望があり、短期間での借上げの合意が得られないなど課題が残るため、空き家所有者との協議を含め、展示会場の検討を行う必要がある。</p>
<p>今後の方針</p> <p style="text-align: center;">G A 拡大 B 縮小 C 統合 D 廃止・休止 E 事業完了 F 改善・見直し G 継続</p>